

★★★活動報告 27年度★★★

レクリエーション『バトミントン』【平成27年7月15日】場所 熱田生涯学習センター

毎年、この時期に行われているレクリエーション、今年もバトミントンでした。青年会議のメンバーに加え、各保育園の保育士さんも参加していただきました。私も園の保育士と一緒に参加し、気持ちのいい汗を流し楽しませていただきました。最初は緊張気味の保育士達も、和気あいあいとした雰囲気の中になかなか打ち解け、楽しんでいる様子でした。また、他の園の保育士さん達や、普段かかわる事の難しい他の園の園長先生方と交流がもてた事を喜んでいました。和気あいあいとした雰囲気の中で始まりましたが、いざダブルスの試合が始まるとそれぞれの立場関係無く、つつい力が入りみなさん白熱していました。七月の体育館は暑く、私も汗がダラダラと流れるほどに頑張っていました。普段の保育現場を離れ気持ちのいい汗をかき、心も身体もリフレッシュでき楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



徳風幼稚園 上地 朋乃

11月例会(研修会)【平成27年11月13日】場所 名古屋民間保育園連盟

平成27年11月13日(金)、名保連事務所にて「子ども・子育て支援新制度」について質疑応答形式による研修会を行いました。当日は保育企画室から生田係長をはじめ13名の方にご出席いただきました。新制度施行後6ヶ月過ぎた時期に、各施設が日頃より疑問に思っていることやあらためて見えてきた課題を中心に青年会議ならではの質問が出されました。1号認定の選考方法や点数制に関すること、標準時間や短時間の扱いなど特に幼保連携型認定こども園や保育所型認定こども園に関する質問事項が多く見られました。保育企画室の方々からは、一つ一つの質問に対して非常に丁寧に回答いただき、参加した会員も納得のいく研修であったと思います。その後の懇親会でも、保育企画室の方々とは会員とが親睦を深めることができ、大変有意義な例会でありました。



誓成保育園 渡邊 一晃

第35回 公益社団法人 全国私立保育園連盟青年会議—徳島大会 報告

【27年11月25日(水)～26日(木)】

平成27年11月25日(水)～26日(木)に第35回 公益社団法人 全国私立保育園連盟青年会議徳島大会がホテルクレメント徳島で開催されました。阿波人形浄瑠璃平成座による演目『寿式三番叟』を皮切りに大会の幕が開けました。

『自然×ぞめき』～学ぶ阿呆に見る阿呆 同じ阿呆なら学ばにゃ損々～の大会テーマのもと一日目は行政説明、そして5つに分かれ各分科会の専門研修会が行なわれ、予定時刻を超える分科会もある程、各々熱気に包まれての分科会となりました。また情報交換会では徳島に来たからには本物の阿波踊りを踊って覚えようという事で阿波踊りの踊り方を教わり参加者全員で会場全体が揺れる程踊り大いに盛り上がりしました。

二日目の情勢報告後の記念講演では養老孟司氏による『養老流 子育て論』をテーマに講演が行なわれました。解剖学を土台に宗教、文学、医学、歴史、文化論など様々な視点から今の子育て、社会への疑問点などお話しされました。未熟な状態で産まれてきた哺乳類ほど、生後の脳の発達が著しく成長していき、その後の集団生活の群れの大きさにより脳というのはさらに発達していくもので社会の大きさによって成長していった社会脳は人間にしかない特筆すべきものである。また、動物と違い人間の脳は相手の立場に立って相手の気持ちを自分に置き換える事が出来る、心の理論が備わっている。しかし感覚よりも意識が優先される現代の人間社会は同じものを創り出して、言葉を獲得した大人は感覚が鈍くなっていくため、ある意味動物として生まれてきたこどもの感覚を大人がしっかりと受け止め動かせる様に育てる事が大切である、と非常に壮大なテーマで養老流の子育てをお話しされていました。その他にも3歳児と5歳児の決定的な違い、物質的に人間は7年で入れ替わる、仕事と道楽のお話し等々、随所に養老氏独特の発想や見方をされていてただただ驚かされるばかりでした。

今回の徳島大会は前回大会が名古屋での開催であったという事もあり名古屋から沢山の先生方にご参加頂きました。ご一緒させて頂きました先生方、本当にありがとうございました。そして遠い地でしたが皆様本当にお疲れ様でした。

ひおき保育園 川田 朋磨

●12月 忘年会 【平成27年12月12日】 場所 楽

平成27年12月12日(土)に、錦の「楽」にて忘年会を行いました。会員・OB会員・伊東先生・藤岡先生を含め16名がありました。みんなで、鶏味噌なべを囲み1年間の労をねぎらいました。新制度になり1年目の中間地点を過ぎ、認定こども園になられた保育園と情報交換をしたり、自園の情報収集など活発な意見交換が行われました。また、2次会でも半分以上の先生方に参加いただき、引き続き会が盛り上がり夜が更けていきました。

参加された皆様、お疲れ様でした。(今年の忘年会は是非違う場所でやりましょう!!)

愛名保育園 日比 勇三





## ●東海北陸ブロック例会【平成28年2月12日】

場所 ローズコートホテル

平成28年2月12日(金)にローズコートホテルにて東海北陸ブロック例会が開催されました。今年度は愛知県の担当で、2部構成による研修会でした。第1部では「青年部の歩み」～これからの青年保育者に必要とされること～というテーマで、愛知県青年部の竹腰部長が講師となり、20代のご自身が将来を見据えたお考えを話されたり、班別に分かれて各園の紹介や保育方針などを他県の先生方とディスカッション形式で行いました。他県の先生方からは貴重なご意見を色々とお聞きすることができ、非常に参考になりました。第2部の幼保合同後継者研修では首都圏で十数ヶ園の保育園を運営されているあすみ福祉会の迫田理事長をお招きして、「ぶれない教育・保育」～理念は飾りではない～というテーマで、保育理念についてのお話をいただきました。迫田理事長がお話しされた中で、ぶれない保育理念を作り、職員と共有し、子どもたちや保護者にも伝えていくことが必要であること、また、施設が地域貢献・社会貢献から社会の財産とされることが最終的な目的ではないかという言葉が印象的でした。引き続きの懇親会には他県の先生方や幼稚園の先生方が多数ご参加され、大変盛大な例会となりました。



誓成保育園 渡邊 一晃

## ●保育まつり【平成28年2月18日～19日】

第55回の保育まつりが平成28年2月18日・19日の2日間行われ、青年会議では男子が主に交通部、女子が会場部でのお手伝いを担当しました。

今年は、比較的暖かい気候でしたので非常に助かりました。交通部では例年通り駐車場内での園児の安全確保を第一として、大型バスや自園バスの駐車場内への出入りや園児の乗り降りをお手伝いしました。途中、ハプニングもありましたが2日間を通して円滑な出入りができていたと思います。西側では限られた駐車スペースに熟練の運転手が芸術的に大型バスを十数台駐車させ、我々スタッフは園児の乗り降りを手伝いました。西側では乗降車中の園児がバスと接触しないように一番細心の注意を払う場所です。南側でも電車や徒歩で来る園児、公園で写真撮影やお弁当を食べ終わった園児などが一般車両や自転車・歩行者と接触しないよう注意を払いながら園児を誘導しました。今年度も大きな苦情や怪我もなく無事に交通部のお手伝いを終えることができました。



交通部・会場部ともお手伝いくださいました会員・OB会員の皆様本当にお疲れ様でした。

ひおき保育園 川田 朋磨

## ●送別会【平成28年4月14日】

場所 スギモト

27年度、退会される笠寺保育園の近藤先生、大法寺保育園の市村先生、篠原保育園の飯田先生の送別会を、栄「スギモト」にて開催いたしました。

伊東名保連会長、OB会員の先生方など多数参加されたこともあり、各円卓では卒業される先生に対する慰労と感謝と御礼を、これからの保育にまた・・これからの青年会議に生かして行くのだ

と・・・」などなど話しが尽きずメインの「しゃぶしゃぶ」を食すよりも話すとなっていました。(接待係の仲居さんたち ごめんなさい)

自分が青年会議に入会した当時からお世話になりっぱなしの先生方で、何も分からなかった自分に色々、教えて頂いたことを思い出しました。(あの頃から、ありがとうございました。)

OB会員となっても変わらず、例会等に参加して頂けると思いますので、これからもよろしくお願ひします。

かなれ原保育園 岩田 義範

## 平成27年度 全国私立保育園連盟青年会議 報告

新瑞幼児園 柘植 信秀

- ・平成27年5月11日(月)～12日(火)に、第1回幹事会が全国保育会館(東京)にて開催されました。
- ・平成27年8月20日(木)～21日(金)に、第2回幹事会が沖縄県立博物館・美術館(那覇市)にて開催されました。
- ・平成27年11月25日(水)に、臨時幹事会が四国大学交流プラザ(徳島市)にて開催されました。
- ・平成28年2月22日(月)に、第3回幹事会が浅草ビューホテル(東京)にて開催されました。
- ・第35回青年会議とくしま大会が、平成27年11月25日(水)～26日(木)に、「自然×ぞめき ～学ぶ阿呆に 見る阿呆 同じ阿呆なら 学ばにゃ損々～」をテーマにホテルクレメント徳島(徳島市)にて開催されました。

名古屋からも数多くのご参加をいただきました。ありがとうございました。

なお、今年度、平成28年度は、「おきなわ大会」になります。「黄金ん子(くがにんぐうわ)～子どもたちの笑顔が未来をつくる～」をテーマに、10月27日(木)～28日(金)ロワジールホテル那覇(那覇市)にて開催されますので、皆さま是非ご参加ください。

- ・平成28年2月22日(月)に、浅草ビューホテル(東京)にて「社会福祉法人改革研修会」が開催されました。

当日は、第1部として、厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 課長 岩井勝弘氏による社会福祉法人改革についての行政説明が行われました。

第2部は、岩井課長、塚本全私保連常務理事、三倉青年会議副会長による社会福祉法人改革の解説が行われ、参加者からの質疑応答も活発に行われました。

- ・平成28年2月23日(火)に、浅草ビューホテル(東京)にて、「リーダーの視点～果たすべき役割とこれからの広報戦略!～」と題して、青年会議第11回特別セミナーが開催されました。

第1部は、「保育の質を高める人材育成」をテーマに、岡崎女子大学教授 矢藤誠慈郎氏に講演をいただきました。

第2部は、コーディネーターに、岡崎女子大学教授 矢藤誠慈郎氏、パネリストに、りとるばんぷきんずグループ統括園長 大江恵子氏、(株)保育のデザイン研究所 代表取締役 瀬木葉子氏、なごみこども園園長 志賀口大輔氏、(公社)全国私立保育園連盟青年会議副会長 脇淵竜舟を迎えパネルディスカッションを行いました。

### 【編集後記】

27年度のかから版をこの時期に発行する事になり申し訳ありません。厳しい暑さが続く季節となります。熱中症の防止とともに体調管理や水の事故防止に心がけ各園のこどもたちが楽しい夏の思い出が作れることを願っています。

かから版の寄稿にご協力いただきました関係者の皆様に改めまして御礼を申し上げます。

ひおき保育園 川田 朋磨



## ◎活動報告 &lt;平成 26 年度&gt;

## 会長挨拶



平素は青年会議の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。平成 25 年度より会長職を仰せつかり 2 年目に突入しました昭和保育園小川裕香子です。

1 期目就任直後に娘を授かり 妊娠 11 か月には茨城大会に参加させて頂き出産後には名古屋大会が開催され多くの先生方のお力添えで無事に終えることができました。妊娠出産を経験し、子を持つ保護者の気持ちが理解できるようになり子どもにとっての良い保育環境を今後も青年会議会員の皆さんと考えていきたいと思ひます。思うように青年会議に参加することが難しい日々ではありますが周りの役員の方の先生方に全力で支えて頂きながらなんとかまた 2 年目も頑張っていきたいと思ひます。

まだまだ手のかかる娘を育児しながら 祖母に子守をお願いしながら出来る限り青年会議に参加していきます。新制度にかわり戸惑うことの多い保育園事情ですが今後も会員の皆様にはふるって青年会議に参加して頂き、情報交換の場として活用して頂けたらと思っております。男性先生の多い青年会議ですが、最近では女性のお顔も拝見できるようになっ、より華やかな青年会議となってきたように感じております。今までの青年会議+新しい青年会議として会員のみなさんと何か新しいことができればと考えております。

頼りない会長ではありますが 今年度もどうぞよろしくお願い致します。

名古屋民間保育園連盟 青年会議会長  
昭和保育園 小川 裕香子



## ●7 月例会【平成 26 年 7 月 23 日】

7 月 23 日に「情報交換会」を開催しました。当日は「名古屋大会実行委員会」間近で、OB 会員の先生や愛知県の青年部も含め 26 名の参加となり、とても盛り上がりました。平成 27 年度保育行政の移行や全国大会へ向けての意見交換など有意義な会合となりました。「情報交換会」の場は、気軽に話題の提供が出し合えますので、今後とも是非参加くださいますようお願いいたします。

香流保育園 岩田 義範

●第 34 回 全国私立保育園連盟青年会議名古屋大会 【平成 26 年 10 月 30 日 (木) ~31 日 (金)】  
場所 ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋

平成 26 年 10 月 30 日 (木) ~31 日 (金) ANA グランコート名古屋を会場として「第 34 回 全国私立保育園連盟青年会議 名古屋大会」が開催されました。

平成 25 年度名保連青年会議総会の場で今回の名古屋大会の実行委員長を仰せつかり、約 1 年半の準備期間をかけて全国より 500 名もの参加者が集う全国大会として開催することができました。

振り返ってみますと、大会開催日の調整、大会の日程構成、会場選定、記念シンポジウムの企画、協賛企業の確保、旅行社との打合せ、参加者の動員、各地への PR 活動等、多くの課題や問題もありましたが実行委員の皆様のお力をお借りしながら乗り越えて素晴らしい、そして名古屋らしい全国大会が開催できたと感じております。実行委員の皆様には園業務で多忙の中、運営部、研修部、会場部、渉外部と役割分担をしていただきながら毎月 1 回の実行委員会への参加に協力いただき

ました。また、愛知県私立保育園連盟青年部の竹腰部長を始め、県青年部のみなさまにも名古屋大会の実行委員に加わっていただき、県私保連青年部として担当分科会の開催をしていただくなど、大変多くのご協力をいただきました。団体を越えたあたたかい絆を感じると共に、このような素晴らしい大会実行委員のメンバーに長期間に渡りご協力いただくことができましたことを心より感謝申し上げます。

名古屋としては 34 年ぶりの開催となった青年会議全国大会だったのですが、大会の開催に合わせて全私保連青年会議 OB 会が開催されたこともあり、全私保連青年会議の歴代会長をはじめとする多く OB の先生方も多くお集まりいただく機会にもなり、盛会に終えることができたことをうれしく感じております。

本当に多くの方々に支えられ、助けていただきながら実行委員長の役目を果たすことができたと感じております。私自身多くの学びの機会を頂けたことに改めて感謝申し上げますと共に、名保連青年会議が今回の大会の開催を機にますます有意義な活動場として発展し、活動が活性化していくことを期待します。





後に後援いただきました名古屋民間保育園連盟、名古屋市をはじめとし、この大会の開催にあたり関わった全ての  
様に改めて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## どえりゃあ、うれしかったがや

第34回 全国私立保育園連盟青年会議  
名古屋大会 実行委員長 稲垣伝三

### ●11月例会「子ども子育て支援新制度について」【平成26年11月14日】

場所 名古屋民間保育園連盟事務所

平成26年11月14日(金)に名保連事務所にて、保育企画室より生田係長をはじめ5名をお招きしまして、「子ども・子育て支援新制度」についての研修会を行いました。「新制度について」研修会等で充分説明されていても、疑問な点や不明な点、聞き難かったこと、また日頃疑問に感じている事など、青年会議の場を利用し気軽に聞く会となりました。27年度より新制度が施行されるということもあり、新制度について再度確認すべき点や、現状での疑問点、委託費のあり方から運営費補給金等、市独自の補助金制度の仕組みを改めてご説明いただきました。その後は名保連事務所近くにあるかめいに場所を移動し懇親会を行いました。懇親会では先ほどの研修会ではなかなか質問しづらい事や保育課の方とのプライベートの話も伺うことも出来、非常に楽しく有意義な時間を過ごす事が出来ました。子ども子育て支援新制度は近年の保育制度の中で最も大きな変革の制度だと思います。この時期に保育課の方と親睦を深めることが出来、例年以上に中身の濃い会であったかと思えます。来年度は施行後の例会になりますので会員の皆様ぜひともご参加ください。



ひおき保育園 川田 朋磨

### ●全私保連青年会議東海北陸ブロック例会報告【平成27年2月4日】

2015年2月4日(水)にグランバール岐山にて2014年度全私保連青年会議東海北陸ブロック例会が行われました。毎年、名古屋市、愛知県、岐阜県、三重県、福井県の各青年部が順番で研修会を企画しております。今年は岐阜県民間保育園連盟青年部の主催で、『保育新制度、いよいよ始まる。～となりのあの人こんなこと考えてました～』というテーマのもと、司会者を中心に各支部より選ばれた5名のパネラー(主に保育園長)が様々な意見を出し合うパネルディスカッション方式によるものでした。名保連青年会議からは前会長



の近藤寛先生が登壇され、名古屋市のこども園への移行状況とご自身の施設の移行経緯等のお考えを話されました。各支部のパネラーの先生方からは、幼保連携型に移行する園、保育所型に移行する園、保育所のまま残る園と各々の立場から独自の見解を述べておられました。各支部によって保育所数、幼稚園数、子どもの人数等地域性の違いがあるため、新制度に対する考え方も多様であり、名古屋の園と同様に各支部とも混乱している状況が伺えました。新制度が直前まで来ているにも関わらず、国から示されるべき諸基準・申請等の内容が複雑かつ不明確であることや地域行政により違いがあるなど、統一されていないことが多いという意見や、特に新制度で新たに設けられた1号認定における「教育」についてはあいまいな部分が多く、パネラーの方々も「教育」の位置づけに関しては困惑されているように見受けられました。また、こども園へ移行予定の園であっても、将来の方向性については地域の実情をみながら様々な角度からの検討や見直しをする必要があり、ある程度軌道に乗せるまでにはしばらく手探りにならざるうえないだろう、といった意見も出されました。今回の例会で、各園が新制度という言葉に振り回されることなく、冷静に新制度を見極め、より良い施設へ向かうためには何が大切であるのかということ改めて考えさせられる機会を持つことが出来たと思います。

誓成保育園 渡辺一晃

### ●送別会【平成27年4月9日】

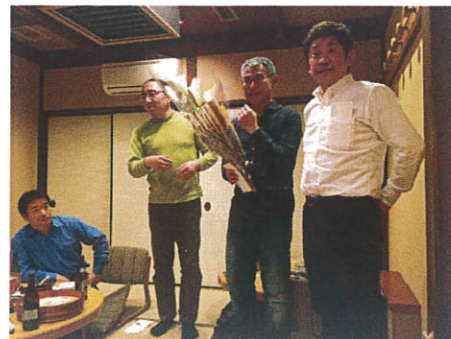
(清龍保育園) 松井先生 (大の木保育園) 牧野先生

(惟信保育園) 宮崎先生 [場所] スギモト

26年度の送別会を4月9日「スギモト」にて開催いたしました。



卒業されたのは、清龍保育園の松井先生、大の木保育園の牧野先生、惟信保育園の宮崎先生の3名でした。青年会議の発展に多大な功績を残して頂いた3名の先生方で、この3名の活躍なくして今の青年会議は存在しなかったと言っても過言ではありません。個人的にもお世話になりっぱなしで淋しく感じております。松井先生には、青年会議の会長に推挙して頂きましたが、力不足で申し訳ありませんでした。



近い将来、「松井先生」が名保連の会長に就任され更に活躍して頂けることを楽しみにしています。

香流保育園 岩田義範





幹事会報告

- 平成26年4月17日（木）～18日（金）に、環境ふれあい館ひまわり（東京都）にて第1回幹事会が開催されました。
  - 平成26年8月28日（水）～29日（木）に、札幌市にて第2回幹事会が開催されました。
  - 平成27年1月14日（水）に、環境ふれあい館ひまわり（東京都）にて臨時幹事会が開催されました。
  - 平成27年3月9日（月）～10日（火）に、全国保育会館（東京都）にて第3回幹事会が開催されました。
- 第2回幹事会において、全国私立保育園連盟青年会議三木充信会長（姫路市）の再任が決定しました。  
平成27年度・平成28年度は、二期目となります。宜しくお願いいたします。
- 第3回幹事会において、第36回青年会議全国大会（平成28年度）の開催地が沖縄県に決定いたしました。

今年度（平成27年度）の青年会議全国大会の開催地は徳島県です。

平成27年11月25日（水）～26日（木）に、第35回全国私立保育園連盟青年会議とくしま大会が、徳島市のホテルクレメント徳島（JR徳島駅直結）にて開催されます。

「自然×ぞめき ～学ぶ阿呆に見る阿呆 同じ阿呆なら 学ばにゃ損々～」のテーマのもと5つの分科会、記念講演、養老孟司氏（東京大学名誉教授）の予定です。

皆様、是非ご参加ください。



- 平成26年6月6日（金）に、三重県津市のアストプラザにて、全私保連保育単価検討委員会委員長の長田朋久氏を講師にむかえ、保育単価と公定価格の研修会が開催されました。
  - 平成26年11月20日（木）～21日（金）に、ホテルニュータガワ（北九州市）にて、第16回青年会議九州ブロック大会 in 北九州が開催されました。
- 「未来への羅針盤～己の進む航路～」のテーマのもと、1日目は3つの分科会、2日目は、パネリストに、長田浩志氏（内閣府政策統括官付参事官・少子化対策担当）・長田朋久氏（全私保連保育単価検討委員会委員長）・渡部史朗氏（おおたみんなの家園長）・脇淵竜舟氏（かみいしづこどもの森園長）、コーディネーターに北野久美氏（あけぼの愛育保育園園長）を迎えパネルディスカッションが行われました。
- 平成27年1月15日（木）に、浅草ビューホテル（東京都）にて、青年会議第10回特別セミナーが開催されました。
- 第1部は、「保育マネジメント・質の鍵を握る保育の専門性」と題し北野幸子氏（神戸大学准教授）が講演されました。
- 第2部は、『『保育と経営』～新たな時代！選ばれる園になるためには？～』のテーマのもと、パネリストに、北野幸子氏（神戸大学准教授）・黒石誠氏（兵庫県・社会福祉法人夢工房理事長）・北野久美氏（福岡県・あけぼの愛育保育園園長）・脇淵竜舟氏（青年会議代表）、コーディネーターに桑戸真二氏（株式会社社会福祉総研代表取締役）を迎え、パネルディスカッションを行いました。
- 平成27年2月4日（水）にグランベール岐山（岐阜市）にて、平成26年度青年会議東海北陸ブロック例会 in 岐阜が開催されました。

「保育新制度、いよいよ始まる。～となりのあの人こんなこと考えてました～」のテーマのもと、パネラーに、近藤寛氏（滝の水保育園園長・名古屋市）・辻健次氏（川崎愛児園副園長・三重県）・藤城智哉氏（希望が丘幼稚園／希望が丘保育園・認定こども園副園長・愛知県）・川島俊樹氏（川島東保育園園長・岐阜県）を迎え、脇淵竜舟氏（かみいしづこどもの森園長・岐阜県）の司会進行でパネルディスカッションを行いました。

新瑞幼稚園 柘植信秀

【編集後記】（書記より）

26年度のかわら版をこの時期に発行する事になり申し訳ありません。新制度施行により大変慌ただしい中、かわら版の寄稿にご協力いただきました関係者の皆様に改めまして御礼を申し上げます。

ひおき保育園 川田 朋磨



◎活動報告 <平成25年度>



会長挨拶



平素は青年会議の活動にご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。今年から近藤寛先生から受け継ぎました会長を務めさせていただきます昭和保育園 小川裕香子です。大きく制度が変わる中、保育園でなければ出来ない子育て支援の在り方を、若い私達青年会議で果たせるよう、各保育園の先生方と情報交換が出来る場にしたいと思っております。集まる機会の多い青年会議ですが、笑いっぱい明るい会議を目指して頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。また平成26年度9月にはこの名古屋で全私保連青年会議の全国大会が開催されます。大会に向けて会員全体で助け合いながら盛り上げていただきますよう心よりお願い申し上げます。

名古屋民間保育園連盟 青年会議会長

昭和保育園 小川 裕香子

●6月例会 【平成25年6月26日】場所 第八飯場丸

7月26日に「情報交換会」を開催しました。OB会員の先生も含め19名の参加となり平成27年度保育行政の移行や全国大会へ向けての意見交換など有意義な会合となりました。「情報交換会」の場合は忌憚なく話題の提供が出し合えますので、今後とも是非参加くださいますようお願いいたします。

香流保育園 岩田 義範

●7月例会「レクリエーション」【平成25年7月25日】場所 中生涯学習センター

7月25日、中生涯学習センターにてバドミントン大会が行われました。子ども以上に元気な園長先生や現役バリバリの若い保育士の先生方など20～30名が集まり、熱く賑やかな戦いが繰り広げられました。経験者のいるチームがぶっちぎりかと思いきや、みなさん想像以上の粘りを見せ、とにかくよく動いてよく拾ったチームが見事優勝を勝ち取っていました。気づいたら夢中でシャトルを追いかけていた自分、翌日肩や脚に激痛がもたらされたことは言うまでもありませんが、改めてスポーツの楽しさやスポーツを通しての交流の大切さを感じた時間となりました。

新砂田保育園 鶯飼 梨紗子

●9月例会「子ども子育て支援新制度について」【平成25年9月6日】場所 名古屋民間保育園連盟事務所

平成25年9月6日に名保連事務所にて、保育企画室より白石係長をはじめ5名をお招きしまして、「子ども・子育て支援新制度」についての研修会を行いました。8月末に行われた所長研修会直後ということもあり、新制度について再度確認すべき点や、現状での委託費のあり方から運営費補給金等、市独自の補助金制度の仕組みを改めてご説明いただきました。また、会員からは、新しい施設へ移行するにあたり、設置主体による制限、受け入れる子どもの認定等にどう対応すべきなのか。特に財源に関して、委託費の支弁から、新たな施設型給付や地域型給付の創設によることでのどのような影響がでるのかなど経営に直結する意見が多く出されました。その他にも青年会議ならではの素朴な質問にも丁寧にお答えいただきました。現段階では不確定な部分が多い中、選択を迫られる新制度にむけて、参加した会員の多くが積極的に意見を出し合い、真剣に取り組む姿勢が印象的でした。その後の懇親会では、名保連会長の伊東先生にもご参加いただき、会員同士と保育企画室の方々との親睦の機会をもてたことも有意義であったと思っております。今後とも会員間の交流をより一層深め、保育企画室からの助言をいただきながら、新制度にむけてお互いが切磋琢磨できる研修会を企画していきたいと思っております。

誓成保育園 渡辺一晃

□全国私立保育園連盟青年会議通信

●(公社)第33回 全国私立保育園連盟青年会議「茨城大会」～名古屋大会PR活動

10月29日～30日 場所 水戸プラザホテル

第33回 (公社)全国私立保育園連盟青年会議「茨城大会」が、平成25年10月29日、30日に水戸プラザホテルを会場として開催されました。

「集え友よ!学舎に」を大会テーマに、全国の青年会議会員を中心として400名を超える多くの参加者が集い、大変な熱気の中で行われました。初日は特別講演、各分科会での研修、情報交換会。翌日は記念講演が行われ、記念講演では茨城県出身のアーティ



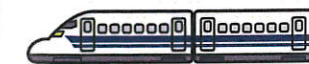
スト石井竜也氏が講演をされ、石井氏自身が東日本大震災で被災した子どもたちに、支援活動をされていることもあり、その活動を通して感じられたことなどに触れながら講演がなされました。

そして既にご存じのとおり、平成26年度の全国大会は、名古屋で開催されることが決定しております。現在実行委員会のメンバーが大詰めを迎えつつある準備を一丸となって行っております。茨城大会にも愛知県私立保育園連盟青年部の部員を含む、多くの大会実行委員が参加し、次回大会開催地として、みんなで力を合わせ、情報交換会では作成した映像による名古屋大会の紹介と合わせ、舞台上で趣向を凝らしたPRを行い、閉会式でも全国の皆さんに大会参加のお誘いをしてまいりました。

名古屋大会の開催まであと4カ月ほどとなりました。茨城大会に参加し実際に感じた感動や得た多くの学びを、名古屋大会においても一人でも多くの参加者の皆様感じてもらうことができ、残りの期間で精一杯、できる限りの準備を進めていきたいと考えております。各地で行われる全国大会に参加することは毎年できることですが、全国大会を作り上げるというのは名古屋に限って言えば、今回で23年ぶり2度目のこととなります。ぜひこの貴重な機会を一人でも多くの名保連青年会議会員の皆様方と共有できればと強く思っております。



名古屋大会実行委員長 稲垣伝三



- 平成25年5月15日(水)16日(木)に、全国保育会館(東京)にて、平成25年度 第1回幹事会が開催されました。
- 平成25年8月28日(水)29日(木)に、次期(平成27年度・第35回)青年会議全国大会開催地である徳島県のあわぎんホールにて、平成25年度 第2回幹事会が開催されました。
- 平成25年10月30日(水)に、茨城県水戸市にて、青年会議茨城大会と同時開催で、平成25年度 臨時幹事会が開催されました。
- 平成26年3月6日(木)7日(金)に、全国保育会館(東京)にて、平成25年度 第3回幹事会が開催されました。臨時幹事会を含め平成25年度全4回の幹事会に、稲垣(名古屋大会実行委員長)、近藤(名古屋大会副実行委員長)・柘植(名古屋幹事)が出席し名古屋大会の進捗状況の報告や全国青年会議の三木会長をはじめとする執行部の方々、全国の幹事の方々とは大会内容について、協議・審議を行いました。
- 平成25年6月5日(水)6日(木)7日(金)に開催された、第56回 全国私立保育園研究大会 宮崎大会において、名古屋大会のPR活動を行いました。
- 平成26年1月16日(木)に浅草ビューホテル(東京)にて開催された、第9回青年会議特別セミナー【変わらない保育はここにある～保育制度が変わる! 私たちの進むべき道は?～】において、名古屋大会のPR活動を行いました。
- 平成26年1月27日(月)に福井市地域交流プラザ(福井県)にて開催された、青年会議東海北陸ブロック例会 in 福井【今後の保育園の在り方と認定こども園】において、名古屋大会のPR活動を行いました。

新瑞幼児園 柘植信秀

●11月例会「研修会」【平成25年11月21日】場所 名古屋民間保育園連盟事務所

あかつき保育園園長 山中健司先生を講師に「保育を語る」をテーマに研修会を開催しました。山中先生の描く「保育への情熱」、「新人保育士への指導方法」、「保護者の対応」など、経験値が高く、また新制度についての話題もありましたが、行政の方向性が定まらず「まだまだ分からない」とのことで残念でした。

山中先生の講演内容は、聞きやすく、参考になる事ばかりですので、次年度も開催を要望します。今回、参加出来なかった先生方も次回は、是非参加してください。

香流保育園 岩田 義範

●12月 忘年会 【平成25年12月14日】場所 楽

平成25年12月14日(土)に、錦の「楽」にて忘年会を行いました。会員・OB会員・伊東会長・藤岡前会長を含め1名の参加がありました。参加者は、鳥みそ鍋に舌鼓をうちながら、1年間の労をねぎらいました。また、名古屋大会の分科会の一つを担っていただき、愛知県青年部からの参加もあり、名古屋大会へ向けて士気を高めました。

2次会では、会員の方々とも縁が深い(?)現在流行の坊主パーへと場所を移し、夜が更けていきました。参加された皆様、お疲れ様でした。

新瑞幼児園 柘植信秀

●送別会 宮崎先生(辰巳保育園) 【平成26年4月2日】場所 牧野

今年度、退会される辰巳保育園の宮崎先生の送別会を4月2日「牧野」にて開催いたしました。日程が他の会と重なったことにより合同開催とさせて頂き、総勢30名を超える先生方が参加され、宮崎先生に対する慰労と感謝と御礼を、これからの保育に.....これからの青年会議に生かして行くのだと.....などなど話が尽きませんでした。OB会員となっても変わらず、例会等に参加して頂けると思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。

香流保育園 岩田 義範

【編集後記】(書記より)

25年度のかわら版をこの時期に発行する事になり申し訳ありません。青年会では26年度開催の名古屋大会に向けた実行委員会が25年6月に立ち上がり大会に向けて会員各々が慌ただしくなりますが青年会の活動も同時進行で今まで通り行っていきたいと思っております。年度末年度初めの非常に慌ただしい中、かわら版の寄稿にご協力いただきました関係者の皆様へ改めて御礼を申し上げます。

ひおき保育園 川田 朋磨







名保連青年会議

かわら版

2013. 4  
H24 - Vo.1

## ◎活動報告 <平成24年度>

### 🍌 会長挨拶

平素は青年会議の活動にご理解とご協力を賜わり厚くお礼申しあげます。久しぶりのかわら版になり楽しみにしていた方々本当に申し訳ございません。

書き出しがいつものごとく“早いもので”…となってしまいますが、本当に早いもので平成25年度の新年を迎え皆様におかれましては慌ただしくお過ごしのことと存じます。来月5月11日(土)に開催予定の「総会」をもちまして、現役員が任期満了を迎えます。思い返す(記憶が確かではないかもしれませんが…)と平成14年、私が園長になり2年目でした、当時会長の白水保育園の黒田会長に誘われ、いきなりの事務局長という大役を頂き2期半の5年間、そして前会長の清瀧保育園の松井会長時代には副会長を1期2年、そして平成21年度より2期にわたり会長という大役を務めさせていただきました。私の至らないところを役員初め会員の皆様に助けていただきながら何とか任期を全うすることができそうです。個人的にも色々勉強させていただき、そして多くの仲間を作ることができ本当に満足のいく4年となりました。ありがとうございました。

今現在、名古屋市長選挙真っ只中ですが、現市長再選なのか？新市長となるのか今後の動向に保育界もかなり左右されるとあってかなり注目といったところでしょうか(お手元に届くころには決まっているとは思いますが。)名保連の予算対策部にも所属しておりますが、保育所運営には政治との絡みもかなりの重要な部分になります、皆様におかれましては機会があればお手伝いしていただくと色々な“仕組み”がわかり勉強になると思いますよ。青年会議でも取り入れも良い活動かも？平成27年度の新制度に向けて大事な過渡期になる一年と思います、まだまだ市内には保育所が増えると思います仲間も増えますと同時にライバルも増えます。よりよい方向に迎えるよう頑張っていかなければならないと思います。

再三お知らせしてきましたが、平成26年度秋にはこの名古屋で全私保連青年会議の全国大会が順調にいけば開催されることと思います。会員全体で盛り上げていただきますよう心よりお願い申し上げます。

そして最後に、役員の方には本当にいろいろと助けていただき感謝申し上げます。新体制を迎えることになるかと思いますが、新会長を会員全体で助けてあげて下さい。そしてよりよい青年会議となるよう盛り上げていただくことを心より祈念して会長として最後の挨拶とさせていただきます。(別に退会ではないので、これからも微力ながらお手伝いさせていただきますよ。)

本当にありがとうございました!!!

名古屋民間保育園連盟 青年会議会長

滝の水保育園 近藤寛



## 第32回 全国私立保育園連盟青年会議 熊本市大会 報告

平成24年10月18日(木)～19日(金)に、第32回全国私立保育園連盟青年会議熊本市大会が、熊本全日空ホテルニュースカイ、くまもと森都心プラザで開催されました。

「きなっせ水と森の都くまもとへ」保育五輪書を手に入れよ!!の大会テーマのもと、1日目は、開会式の後、地の巻「朝鍛夕鐘」～絵本の世界からみえるもの!～(さとうわきこ氏)、水の巻「陰陽の足」～これからの保育のマネジメントを考える～(藤森平司氏)、火の巻「三つの先」～保育のしくみを使いこなせ!～(シンポジウム:北野幸子氏・伊奈川秀和氏・續幸弘氏・塩崎美穂氏・初瀬基樹氏)、風の巻「枕をおさふる」～「子どものため」だけでなく「親も子も支える保育」～(宮里六郎氏)、空の巻「実の空」～保育者の野生力を問う 人と自然のコミュニケーション～(浜崎幸夫氏)と保育五輪書の通り5つの分科会に分かれて、研修が行われました。

2日目には、全私保連活動報告(全私保連常務理事 菅原良次氏)、行政報告(厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長 橋本泰宏氏)のあと、「人を育てる、人に育てられる一柔道を通して学んだこれからの生き方」と題し、山下泰裕氏(オリンピック柔道無差別級金メダリスト、東海大学理事・副学長)の記念講演が行われました。分科会では各テーマのもとで保育を深め、記念講演では選手として、指導者としての両面からの人の育ち・育て方・生き方を学ぶ機会となりました。

新瑞幼児園 柘植信秀



## 11月例会 研修会【平成24年11月2日(金) 場所 名保連】

名古屋市保育企画室の方々に出席して頂き名保連事務所にて「素朴な疑問や聞きたいこと」をテーマに事前に集めた質問事項や意見について説明して頂きました。補助金制度、配置、格付基準など保育業務全般に関することから今後の方向性、計画や予想される事案など青年会議の場でしか言えないことや青年会議会員だから言える爆弾発言など保育行政と保育現場が相互に現状を知り合える価値のある研修会?懇談会?連絡会?になったと思います。名古屋市内各所に新設園が出来、待機児童ゼロ=潰れる保育園が発生!という危機を真剣に受け止め、保護者のニーズを分析し、現状と役割、「質」を高め、「特徴」を出して行くことが大切だと思います。

研修会終了後は懇親会へと移動し、S係長さんや名保連会長、OB会員の方々も合流し盛大な会合となりました。

香流保育園 岩田 義範



## 全国私立保育園連盟青年会議調査研究部 視察報告

□視察日時 平成24年11月27日(火)

□視察場所 森のようちえん びっぴ  
(軽井沢フェローシップパイルキャンプ場:長野県北佐久郡軽井沢町発地 1061-54)

「～おもしろいことみつけた～ なるべく多くのことがゆるされている森の中でゆっくり好きなことを見つけよう」という保育観のもと、軽井沢の豊かな自然の中、園舎をもたない野外保育のようちえんは、2007年の4月に開園し、現在はスタッフ5名(中沢さん・斉土さん・阿部さん・本城さん・橋場さん)で保育をされ、9時～14時まで、2歳児～5歳児までの30名が在園(見学当日の出席園児は23名)しています。

11月末、初冬の乾いた青空の下、身体芯まで伝わる寒さの中、見学がスタートしました。見学といっても、見学者も子どもたちの中に入り、接し、関わり、登園から降園まで子どもたちと一緒に時間をともにするというのが、今回の見学の条件の一つでした。

朝9時から子どもたちが登園してきて、順次、受け入れを行います。

前述しましたが、このようちえんは園舎がないので、当然、外で子どもの受け入れをし、子どもたちは森の中の平坦な場所にある木のベンチや机に荷物を置き、置いたらすぐに走り出し、各々主体的に遊びを始めます。

カラフルなスキーウェア・手袋・ブーツ・帽子を身にまとい、元気よく遊び、片隅では薪ストーブや焚き火の煙が上がり始めます。

9時30分頃には、全員集まり、丸太の椅子の座り、所謂朝の会が始まります。

スタッフのお話(因みにスタッフを含め見学者も全員ニックネームで子どもたちから呼ばれます。)、手遊び、唄を歌い、絵本を読みます。勿論それら全てが野外で行われます。

10時頃からは、お散歩に出かけます。

落ち葉でふかふかの坂道を登ったり下ったり、氷の張った水溜り、泥、落ち葉、霜のついた木や葉、森を通り抜ける風の音、鳥の鳴き声、どんぐり、まつぼっくり、自然に関わり、接し、全ての時間が自然の中でゆっくり流れ、全てが子どもたちの遊びにつながっていきます。歩いては停まり、興味・関心の趣くままに、走っては転び、興味・関心の趣くままに、そこから新しい遊びが生まれ抜かっていきます。

お散歩(軽い登山と言っても過言ではない。)から帰ってくると、森の中で、太陽の光、風、寒さを感じながら丸太に座り、ランチをいただきます。

ランチ後は、暫く各々遊び、その後、絵本、集団ゲーム遊びなどなど、好きな遊びを子どもたちが各々選んで遊び、最後に全員で輪になって帰りの挨拶をした後、子どもたちが「お母さ～ん」と呼ぶと、保護者の方々が正にお迎えに来ます。

午後2時頃に、木の陰に保護者の方々が待機していて、「お母さ～ん」の呼びかけに、子どもたちのもとに走ってきて、抱きしめます。「また会えたね。」って。

園舎のない、囲いのない、森の中の野外保育で、自然の中、ゆっくりゆったり保育を行い、子どもが好きなことを見つけ、発見し、遊び、育っていくという場を体験させていただくという一日ですが、大変貴重な経験をさせていただきました。

「子どもが心から楽しんで遊んでいるか？」

スタッフの方のことばが、今でも心に残っています。



報告者:新瑞幼児園 柘植信秀



一本城真之介氏インタビュー  
全国私立保育園連盟青年会議調査研究部

現在、「森のようちえん びっぴ」のスタッフの一人として働く本城氏。  
三木谷氏とともに楽天の創業者の一人で副社長をしていた彼が、なぜ楽天を辞め、保育の世界に入ったのか？ その疑問と「森のようちえん びっぴ」について聞くため、視察の前日の平成24年11月26日(月)の夜、軽井沢にて、高山、田中、柘植がインタビューを行った。

▶▶▶楽天を辞めたきっかけは？

本城氏>30歳で辞めると決めていた。どんなことがあっても、辞めると決めていた。  
根拠はないが、29歳でも31歳でもなくて、30歳と決めていた。  
結婚、子どもも産まれ、会社を辞めた。全て30歳です。

▶▶▶辞めた後は？

本城氏>次にやりたいことは2つあって、1つはホテル・旅館の経営、2つ目は教育だった。とにかく人の衣食住全てに関わる仕事をしたかった。ホテルや旅館は、何時でも出来る。今やるなら教育と思った。会社で、次の経営者や次世代を担う人を育てるのが経営者の一番の大きな役割。それで、会社を社会に置き換えると、社会は学校教育。それで、教育に関わろうと思った。教育は、面白そう。でも難しそう。それで、挑戦してみようと思った。30代で学校教育に関わることができて、子どもが産まれて、今がある。

▶▶▶森のようちえんびっぴに関わるきっかけは

本城氏>はじめは全寮制の中高一貫校をつくりたかった。  
どこにつくろうかと考えたとき、東京からの距離、新幹線、自然環境などの理由から軽井沢でつくりたいと思った。そして、軽井沢に転居し、場所を探していた。ただ、そこで疑問が湧く。私立の学校だと大学への進学率で実績を上げ、経営しないといけない。常に頭の良い子だけを輩出しないといけない。  
でも、それは工場みたい。同じ品質の子どもを出す。  
工場？それは違う。僕は教育をやりたい。別のやり方を探すことにした。  
そんな中、自分の子どもの保育園・幼稚園を探し中で、びっぴに会い、見学する。  
2月、雪の中、野外で子どもたちが楽しそうに遊んでいた。  
ランチタイムの時間、焚き火を囲み子どもたちが座っていた。ある子どもが濡れている手袋を焚き火で乾かそうと石の上に手袋を置いた。明らかに火に近く、燃えそうな位置に。案の定、手袋は焦げてしまう。僕が、スタッフの方に「焦げちゃいましたね」と言うと、スタッフの方は「先週は燃えちゃったんですよ。」と言った。  
これに僕は衝撃を受けました。子どもに2回も失敗させているし、燃やすから焦がすに1週間で成長している。  
たくさん失敗させてあげることが本当は大事で、どうしても成功体験を積ませて、上手くできるように、失敗しないように、けがをしてしまわないようにしてしまおう。  
でもここは、たくさん失敗させてあげさせられる豊かさがある。

▶▶▶どのようにしてその様な感覚が生まれたのか？

本城氏>子どものときから今まで、自由に色々やらせてもらえた体験からかな？  
僕が大切にしているのは、「正解より解答」正解より自分なりの解答を出すこと。「思考より試行」何でも試すこと。「成功より成長が大事」出来たより、失敗して成長する実感が大事。この3つが自分自身の中で培われてきた。

▶▶▶森のようちえんびっぴのことを教えてください。

本城氏>四季を通じて野外で活動している。子どもたちは四季のサイクルを感じている。自然の中で、生き物の生死に触れている。生き死ににたくさん触れることが大事。  
天候含め環境が不安定・不確実で、決して安全なところではないが、子どもは育っていく。  
2歳児しか入園できない。2歳児からの積み重ねが大事だと思う。子どもは夏は日陰、冬は日向を探す。

▶▶▶本城氏にとって保育とは？

本城氏>今の子どもは、乳幼児期に人と人との関わりあいの経験不足。遊びが足りないと思う。徹底的に遊んでいない。たっぷり遊んでいない。遊びが確実に減ってきていて、習い事やゲームに比重がいつている。  
保育は、子ども一人ひとりと対話しながら関わりながら、面白い大事な仕事。  
高層マンションの一室でも保育できないとだめ。森の中でやっていたら良いわけではない。どこでも、ちゃんとした保育をしないと、本当の保育ではない。保育とは、方法ではなく、あり方。

▶▶▶今後は？

本城氏>保育を徹底的に深めていく。一生できる仕事。一生かかると。難しいけれど面白い。

本城氏のインタビューは2時間以上に及んだ。紙面では本城氏の発言を主に抜粋している。  
こちらの質問に、真摯に温かな口調で答えていただいた。ただ、その温かな口調の中にも力強さを感じる人物だった。

文責：新瑞幼稚園 柘植信秀

12月忘年会 【平成24年12月8日(土) 場所 昇家 三蔵店】

平成24年12月8日(土)に「昇家 三蔵」にて忘年会を行いました。会員・OB会員で16名の参加者がありました。焼肉屋ということもあり、みな煙を浴びながら1年間の労をねぎらいました。タン塩から始まり、豚トロ、鳥の味噌漬け、ホルモン、ハラミ、カルピ。更にわかめスープに大盛りビビンバと、次から次へと大量に出てくると食材に箸を進めながらも、さすがに皆さん徐々にペースダウンしていました。

11月に衆議院が解散され、年末に総選挙があるということで忘年会の話題は選挙の話でもちぎりでした。どこの政党が政権をとるのか、第三極の勢いはどうか、選挙によって名保連や保育への影響が出るのかどうかなど、会員の国政に対する意識も非常に高いといこともうかがえました。その後、2次会では場所をテ〇シーに移し、カラオケをしながら、みな保育についてアツイ語り合い。そして3次会→・・・次会へと。皆様大変お疲れ様でした。

誓成保育園 渡辺一晃

全国私立保育園連盟青年会議 東海北陸ブロック例会  
【平成25年1月11日(金) 場所 名保連】

平成25年1月11日(金)に名古屋民間保育園連盟にて全国私立保育園連盟青年会議東海北陸ブロック例会が開催されました。今回の東海北陸ブロック例会は名古屋民間保育園連盟のパートナー弁護士でもある、あおば法律事務所弁護士の上田敏喜(うへだとしき)先生をお招きし『園内における事故リスクマネジメント』と題して保育園での事故、クレーム、園運営で起きる多種多様な問題への丁寧かつ迅速な対応、ことばのかけ方など具体的に教えて頂きました。



例会では全国の事例をいくつかあげ、その時どういった状況でその事故が起き、責任の在り方 賠償金の事など詳しく教えて頂きました。特に保育園で起こる可能性のあるアレルギー、誤嚥に関する窒息事故、SIDSの事例は、最近、起きた事故も踏まえ、その時の状況、事故後の対応など説明頂きました。どこの園でも起こり得る可能性のある事なので会員の皆様も背筋が凍る思いで聞かれていたのではないかと思います。そして事故が起きてからの保育園の対応では事故の状況を推測で記録するのではなく主観を入れないありのままの事実を記録し、時にはボイスレコーダーなどの記録媒体も利用しその状況を記録しておく事の重要性を教えて頂きました。

今後は「想定外」を減らし、常に「最悪の事態」を予測し、それらを防ぐ観点から具体的な予防策をとることが不可欠です。毎日の保育の中に存在する危険、仕事の中の不確実な要素、事故の可能性、事故が発生した際に予想される出来事、それへの対処方法などを改めて考え直しマニュアル化していきたいと思いました。そして保育時間中に事故が起きてしまったらいかなる状況であっても、細心の注意と誠意をもって対応しその後も真摯に取り組んでいく事が園として責任を全うする事だと思いました。質疑応答の時間では会員の方々から様々な場面での保育園の責任の在り方など沢山の質問が投げ掛けられましたが上田先生の弁護士ならではの明快な回答に納得されていた様子でした。今後も上田先生には保育園でのトラブルや事故についての相談に応じて頂けるという事です。例会の後は名保連事務局近くの居酒屋パッカスにて例会に参加する事が出来なかった会員も加わり総勢40名程の大勢で盛大に懇親会を行いました。

ひおき保育園 川田 朋磨

第52回保育まつり 【平成25年2月14日(木)~15日(金) 場所 名古屋市公会堂】

青年会議及びOB会員の皆様にご参加ご協力頂きまして有難うございました。今年も無事に保育まつりを終える事が出来ました。関わられた全ての先生方に感謝しております。

ひおき保育園 川田 朋磨

3月例会 研修会 【平成25年3月12日(火) 場所 名保連】

去る3月12日に名保連事務所において、名保連青年会の3月例会がおこなわれました。今回はあかつき保育園長の山中健司先生を講師としてお迎えし、「これからの保育園に求められるもの」を演題に保育について熱く語って頂きました。年度末ということもあり、数名の先生の参加でしたが、山中先生の保育に対する思いを「待機児童解消と株式会社参入」に関する視点や、「保育園の役割」の視点からいろいろ教えて頂くことができました。特に保育園の役割については、山中先生が実際に取り組まれている休日保育や地域子育て支援センターの事業を通して、取り組まれるまでの先生の思いや経緯を実際の経験をふまえて、具体的にわかりやすくお話しして頂きました。また、会員からも多くの質問がなされ、少人数ならではの対話形式の研修となりました。研修での熱気をそのままに、場所を丸の内にある「吉本」に場所を移し、親睦会が行われました。親睦会では新たに3人の先生が加わって、山中先生と近しく語ったり、それぞれの先生同士保育に対する思いを語り合ったりしていました。そして盛会のうちにお開きとなりました。

清涼保育園 本多 伯舟

【編集後記】(書記より)

24年度初めてのかわら版をこの時期に発行する事になり皆様には大変申し訳なく思っております。仕事を溜めないという今年の目標が序盤にて砕け散ってしまいました。年度末年度初めの非常に慌ただしい中、かわら版にご協力いただきました関係者の皆様にごめまして御礼を申し上げます。  
ひおき保育園 川田 朋磨





## 会長挨拶

平素は青年会議の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。早いもので今年度も残すところあと僅かとなってしまいました。例年に比べ今年度は特にそう感じます。

東北の大震災から早くも一年が経ちました。まだまだ復興にも時間がかかりそうです。今後は青年会議としても何か出来ることをしていきたいと考えていますので、会員の皆様のお力、お知恵を拝借したいと思っています。

新年度を迎え、会長としても最後の一年を迎えることとなります。(定年がある以上、ひとりでも多くの会員に会長・役員職を経験して頂きたい。というのが私の持論です。) 精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成 26 年度には全国大会を開催することがほぼ内定しております。その為の実行委員会の設置等の準備をしていかななくてはなりません。また、新しい事業、活動も取り入れてきたいと思っています。

この一年が会員の皆様に少しでも有意義な活動になるよう役員一同頑張っていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

名古屋民間保育園連盟 青年会議会長 滝の水保育園 近藤真

## 活動報告 <平成 23 年 10 月～4 月>

### 10 月例会【名古屋市の考える新システムと待機児童対策】

保育企画室保育指導係との合同研修会を開催しました。

冒頭に指導係の方より「特に資料などは用意しておりません。今回の研修会はお互い思う所や疑問に感じることを出し合い話し合い、今後に繋げましょう。」と始まりました。内容的には新システム移行に関する事、待機児童対策、企業参入に関する事、賃貸物件の事、休日保育、延長保育、障害児保育、病児病後児保育、一時保育について、などを自分たち青年層の思う所や考える所、名古屋市の立場として、またその立場を抜き一個人として思う所などを言い合いました。

「この件についてどう思いますか?・・・まだ具体的なことは言えないが・・・こうなるのではないか?・・・個人的にはこうなってほしいけど・・・そうなるとうこういった反発があるのでは?」などなど、他言無用が条件のため、すみません!何も書けません!聞きたい人は参加してください!(OBの先生には極秘事項で聞かなかったことにして下さい。)

「待機児童ゼロ対策」が完了と同時に起こる「競争の原理」、今までとは違い、「ただ園児を預かっていればよい時代は終わった!」と自覚し「質の向上」に努めなければならない。その努力を怠ると・・・本当に潰れる保育園が出てくるのでは?

終了後、研修会に参加出来なかった保育課の方やOB会員の先生方なども合流し、懇親会を開催しました。この内容も極秘事項とさせていただきます。(笑)

香流保育園 岩田義範

### 11 月例会【愛知県青年会との情報交換会】

平成 23 年 11 月 17 日(木)に「旬蔵」栄本店にて愛知県の青年会議会員との親睦会を行いました。近年開催を打診されている全国大会の開催に向け、色々な角度からの話し合いが盛んに行われました。

親睦会も半ばに差し掛かったところ、県の会員の方から「保育園での悩みや困っていることなど一人ひとり打ち明けてみませんか」と提案があり、会員各々から仕事や保育園での今の立場について、プライベートの悩みなどの相談がありました。同じ境遇にいる会員同士なので非常に共感できる事もあり、話を聞いている時は多くの参加者が頷いてみえたのが印象的でした。

今後も愛知県青年会と名保連青年会が相互に意見を交換し理解を深めながら、これからの保育をともに考えていくためにもこういった親睦会の場を続けていければと思います。

ひおき保育園 川田朋磨

### 12 月【忘年会】

平成 23 年 12 月 10 日(土)に、中区錦の樂にて忘年会が開催されました。参加者は、青年会議会長をはじめ、会員・名保連の伊東会長・OB会員を含めて総勢 23 名でした。

当日は、鳥鍋を囲みながら、会員同士が一年間の労をねぎらい、日々の保育のこと、保育園を取り巻く現状、保育情勢などを話し合いながら親睦を深めました。

参加された先生方、参加できなかった先生方、一年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

新瑞幼児園 柘植信秀



### 1 月例会【施設見学研修旅行】

<H24.1.12(木)～15(日)>

今回、全私連青年会議会長『菊池さくら保育園』園長、本藤潔先生のご縁で、熊本県に総勢 7 人で 4 施設の見学をさせていただきました。

『ひろやすにし保育園』、保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とした児童福祉施設で、特に興味深かったのは子どもが外界の世界(自然や文化)に一層の興味を持てるよう、オランダはカルク博士のピラミッド教育法によるプロジェクト方式を取り入れていました。また、グランドにある畑で食育を行っていました。

『杉水保育園』、園舎改装工事が終わり、非常に綺麗な保育棟を見学させて頂き、保育施設内の安全管理の行き届いた施設に勉強させて頂きました。また、そうめん流しを行うなど楽しい取り組みもされていました。

『菊池さくら保育園』、ランチルームの完備、3 歳以上の園児に対してはクッキングを通して食育を行っていました。園のしおりにも SIDS 乳児突然死症候群の説明の記載があり、健康管理の取り組みに興味深いものがありました。



2日目に訪れた『河内からたち保育園』、キリスト教保育を行っていました。遊びを大切に考え、自己肯定感を育て、けんかも大事！という考えで保育を行っていました。また卒園してからも「たんぼぼクラブ」という集まりを開催し、キャンプ、スケートに行ったり、運動会、フェスティバルなどの保育園の行事に参加したりと、卒園後も地域子どもたちを見守り続けることを大切にされてました。河内からたち保育園見学後は熊本県青年部の方々と懇親会を行い、様々な情報交換など、楽しく身になるひとときでした。

3日目には阿蘇ファームランドを訪れ健康、医学、体育、教育の体感施設で楽しく時間を過ごすことが出来ました。阿蘇山にも訪れる事ができ、様々な体験、身になる施設見学ができ、これからの園運営に活かしていけたらと思います。

参加した先生方、このような機会を与えて頂きましてありがとうございました。

中村保育園 宇都宮正倫

### 第51回保育まつり

実行委員長始め実行委員の先生や各部の部長先生、関わられた全ての先生方、お疲れさまでした。

青年会議は主に「交通部」を担当しておりますが、大きな事故やトラブルもなく、無事終えることができました。

また来年もよろしくお祈りします。

香流保育園 岩田義範



### 3月例会【送別会】

平成24年3月16日(金)に「木曾路」錦店で平成23年度の送別会を行いました。今年度は川中保育園の遠藤先生が卒業されるということで、名保連会長の伊東先生を始め、会員、OB会員含め23名の出席がありました。

今回は女性会員2名が1次会、2次会とも参加していただきましたので、場の雰囲気も非常に華やかになり、お酒のほうも大分進んでいたようです。

遠藤先生は人望が厚く経験も長いことから、終始、会員やOB会員と過去の思い出を語りあっておられました。遠藤先生にはご自分の経験から青年会議のあり方として、いくつかのことをご指摘いただきました。同じ境遇で仕事をしている仲間作りの場であること、講義や施設見学を行う研修の場であること、親会への参加の土台作りや全国の青年会との交流をもてる場であること、などなど。普段なんとなく分かってはいてもあらためて指摘していただくと、青年会議の重要性を皆、感慨深く感じたのではないかと思います。また、保育業界を背負っていく者として、同じ仲間達と支え合うことの大切さを、身を持って教えていただきました。

遠藤先生には今後ともOB会員として、青年会議へご指導いただければと思います。

長い間本当にありがとうございました。

誓成保育園 渡辺一晃

### 第31回全国私立保育園連盟青年会議【京都大会】

<H24.2.16(木)『金剛能楽堂』～17(金)『ホテルグランヴィア京都』>

平成24年2月16日(木)から17日(金)にかけて、第31回全国私立保育園連盟青年会議『京都大会』が開催されました。まさに保育まつりと同日程で行われ、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

さて、今大会テーマ『守・破・離』(伝統を守りながらも既存の価値観にとらわれず、新しいことに挑戦し、より高見へと自分を導く、という意味らしいです。)のもと、大会初日は開会式、行政報告、記念講演を金剛能楽堂という能舞台で行われ、普段とは一味違う雰囲気でした。中でも記念講演では、TVでおなじみの青山繁晴氏の熱のこもった講演に心を惹かれました。

会場を移し、夜は情報交換会です。地方から参加された先生方と新しく交流をもち、有意義な時間を過ごすことができました。次回開催地「熊本県」によるアピールもありました。

翌日はホテルグランヴィア京都で分科会です。私は第1分科会「子ども子育て新システム～保育の継・拓～」に参加しました。大阪市立大学の山縣文治先生の講演で進行し、山縣氏の見解の中から、今後の展望や不安少し理解できたような気がします。

そして閉会式。それぞれ挨拶があり、無事、幕を閉じました。素晴らしい会に参加できたことをうれしく思い、「数年後は名古屋で開催かぁ…」と期待と不安でいっぱいになりながら、新幹線に飛び乗り、保育まつりへ無事、間に合うことができました。

名古屋も負けなくらい素晴らしい大会にしましょう！！

滝の水保育園 近藤 寛

### 全国私立保育園連盟青年会議【第7回特別セミナー】

<H24.3.3(土)『AP 浜松町 芝パークビル B館地下1階』>

平成24年3月3日(土)、桃の節句の日に、全国私立保育園連盟青年会議 第7回特別セミナーが開催されました。会場もあふれんばかりの大盛況です。毎回、青年会議ならではの内容で楽しみにしている研修の一つです。

今回は第一部として内閣府政策統括官である村木厚子氏を迎え、「子ども・子育て新システムについて」講演がありました。真新しい情報もあり、いよいよカタチが見えてきました。

第二部は今回の目玉、コーディネーターに玉川大学准教授の大豆生田啓友氏を迎え、保育園側・幼稚園側・企業側とそれぞれの代表者によるパネルディスカッションです。参加者は大バトルを期待していましたが、全員保育園も運営されているので、かなり慎重な発言にとどまっていたようです。ただ、ディスカッション自体はとても面白く、色々な側面から“保育”というものをとらえていました。

その後、執行部から(半強制的に?)勧誘があり、情報交換会に愛知県の前会長さんとご一緒させていただきました。さすがに元全国青年会議会長です。なかなか帰れません。二次会も半ばに差し掛かったところで、終電アウト!そのままご一泊です。TVなどでおなじみの品川Pホテルに宿を確保し、近くの屋台で会長とラーメンをすすりながら語らせていただきました。翌朝新幹線に飛び乗り帰宅です。

ハプニングもありましたが、やはり特別セミナーは面白いです。今回も名古屋からは私だけの参加でしたが、来年は誰かご一緒しましょう！！

滝の水保育園 近藤 寛



### 会長挨拶

平素は青年会議の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
季節はすっかり“秋”を迎え、肌寒い毎日に“冬”も聞こえてきそうです。  
そんな季節になってしまいましたが、今年度最初の“かわら版”です。発行が大  
り誠に申し訳ございません。

5月の総会で、会長職に再任させていただきました。個人的には、一応、今期で  
えたいと思っております。青年会議に“定年”がある以上、一人でも多くの方に  
“職を経験して頂きたい”と思いと、それに相応しい会員も多数います。青年会議が今後ますます「成長」していくた  
めに…。

さて、今年度に入って大きな課題をいただきました、「平成26年度以降に名古屋で青年会議の全国大会を開催して  
もいいです。」と全私保連青年会議幹事会の場で公言してしまいました。今の流れで行くと実現しそうです。また、愛  
知県青年部と合同開催という案もいただきました。実現することを前提に今後の例会を含む活動は企画していくつ  
もです。

全国大会が実現、成功するためには会員初めOBの先生方、名保連会員園のご理解、ご協力なくしては実現いたしま  
せん。何卒ご協力の程よろしくお祈りいたします。

自分なりのゴールに向かって、会員の皆様に少しでも有意義な活動になるよう役員一同頑張っていきたいと思いま  
す。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

名古屋民間保育園連盟 青年会議

会長 滝の水保育園 近藤 寛



変遅くな  
役目を終  
“会長”

全私保連 全国大会（兵庫大会）が、平成23年6月15日（水）～17日（金）まで神戸市にて開催されました。  
青年会議からは、近藤（滝の水）、柘植（新瑞）、宇都宮（中村）の3名の参加がありました。  
来年度は、三重大会（四日市市開催）です。会員の皆様も、ふるってご参加下さい。

### ★全私保連青年会議幹事会

全私保連青年会議の平成23年度第1回幹事会が、平成23年5月12日（木）～13日（金）、第2回幹事会が、  
平成23年8月29日（月）～30日（火）に、全国保育会館（東京）にて開催され、近藤会長、柘植副会長が出席  
しました。

第1回、第2回ともに、全私保連青年会議の規定改定、旅費規定改定、部費徴収などについて協議・審議が行われま  
した。

また、厚労省室長による新システム関連の行政説明、福田泰雅氏（鳥取県・赤崎保育園園長）による保育の質の向上  
のための研修会、全国の幹事の方々との情報交換も行われました。

※全私保連青年会議では、全国の幹事へ保育関連ニュースのメール配信を行っています。そのニュースの配信（転送）  
をご希望の方は、柘植までご連絡下さい。（新瑞幼稚園 柘植信秀）

### 活動報告 <平成23年6月～9月>

#### ●7月例会 情報交換会<H23.7.14(木)>

7月14日（木）、金山総合駅近く素材屋金山店にて青年会議の会員・OB 会員を含め15名の参加のもと青年  
会議7月例会（情報交換会）を行いました。

昨今の保育をとりまく状況では、たくさんの情報があり名古屋の話や全国の話など各会員それぞれ思いや考え  
を話していました。

様々な話に終わりはなく保育に思う考えその語りあう姿こそが子どもの未来に繋がるものと思っております。  
今後も情報交換会を大切にしていきたいと思っております。参加された皆様ありがとうございました。

（中村保育園 宇都宮正倫）

#### ●東海北陸ブロック大会 in 三重

<H23.8.5（金）場所一四日市ドーム大会議室・霞ヶ浦体育館>

毎年恒例に行われております東海北陸ブロック大会の今年度担当は三重県私立保育連盟青年部さんでした。地  
元の保育士を踏め50名ほどの参加があり盛大に行われました。残念ながら名古屋からの参加は私だけでした。  
（社）法人三重県サッカー協会のキッズリーダーインストラクターのお二人を講師に迎え、午前中は四日市ドーム大  
会議室にて講義、「大人の接し方で子どもの成長に大きな影響を与える」ということが根本にあるといわれてい  
ました。昼食を挟み、午後からは会場を徒歩5分ほどの霞ヶ浦体育館へ移し、実技を行いました。フープ、ボー  
ルなど手ごろな道具を使い、考えながら体を動かす、遊び？をもとにしたレクを参加者全員夢中で汗だくになり  
ながら楽しんでいました。最後に実技修了証をいただき、財団法人日本サッカー協会公認キッズリーダー（U-6）  
という資格もお土産にいただきました。研修後の情報交換会には、全私保連青年会議に役員一同も合流し、熱く  
楽しく語り合うことができました。

（滝の水保育園 近藤 寛）

#### ●サマーセミナー<H23.8.16(火)～17(水) 場所一乙女溪谷キャンプ場>

今夏は山！ということで、去年の海から一転、蒸し暑い節電の名古屋を離れ、平成23年8月16日（火）～17  
日（水）に、岐阜県中津川市加子母の乙女溪谷キャンプ場にて、毎年恒例のサマーセミナー（8月例会）が開催され  
ました。

参加者は、会員・OB 会員を含めて総勢18名でした。

まずは、工房にて木の文化、木の特性を教わった後、マイ箸づくりです。

檜の木片を紙やすりで丁寧に削り、箸の形に整えた後、絵具と筆を使い各々思  
絵を箸に描いて仕上げました。

次は、川に移動して、川の生き物、危険性、川遊びの際の注意点を学び、実際  
を体験しました。また、同時に鱒つかみにも挑戦し、冷たい川の流れと魚のニ  
ル感、、、皆、童心に返り夢中で川遊びを楽しみました。

そして、バンガローに移動し、その獲った鱒を捌き、竹串にさしてのバーベキ  
ューとなりました。火熾しには、災害用火熾し一斗缶の威力も体感しました。バーベキューでは、時には火熾しに苦労しま  
すが、この一斗缶を手順に従い使用すると、驚くほどの炎が出て燃え上がります。

火を囲み食べて飲み、途中に雨にも降られながら、会員同士で保育のこと、家庭のことなどを話し、毛布をかぶりな  
がらの夜は更けていき、翌朝には朝食後、川遊びをして解散となりました。

キャンプという行為を通じて、短い時間ですが、まさしく寝食をともにし、会員間の交友も深まり、山・川・木の文  
化を体感・体験できた大変有意義な例会となりました。

ご参加頂いた会員・OB 会員の皆様、ありがとうございました。

来年度もサマーセミナーを開催予定ですので、会員の皆様は是非ご参加下さい。

（新瑞幼稚園 柘植信秀）



い思いの  
に川遊び  
ユルニュ  
ューとな



### 今後の活動予定

- |           |       |                  |
|-----------|-------|------------------|
| 10月28日（金） | 10月例会 | 保育課との例会・懇親会      |
| 11月17日（木） | 11月例会 | 愛知県私保連青年部との情報交換会 |
| 12月10日（土） | 忘年会   | 青年会忘年会           |







● 会長挨拶

日頃は、名保連青年会の活動にご理解・ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。早いもので、この3月をもって役員会任期の満了を迎えます。この時期になると年々、一日、一か月、一年の長さが短くなっていくように感じます。私も気がつけば、四十路の声が聞こえてまいりました…。今年度は年度途中で、私と同級で頼りにしていた副会長がいなくなるという災難？にも見舞われたり、私自身の職場の異動があったり、いろいろなところで選挙が行われてその過程、結果に一喜一憂したりと、なんだかいつもに増して慌ただしかった一年だった様に感じています。新年度はもう少し、ゆとりを持ってゆったりと過ごしたいと思っております。

この保育の世界でも毎年、毎年飽きることなく言っておりますが大変な状況が続いております。一体いつになったら「良くなったね」という声が聞けるようになるのでしょうか？

この青年会議が少しでも好転する“きっかけ”が作れるよう、会員初め多くの先生方が一致団結し、活気ある活動をしていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

名古屋民間保育園連盟 青年会議  
会長 滝の水保育園 近藤 寛

活動報告 <平成23年1月～4月>

● 東海北陸ブロック研修会報告【平成23年2月9日】

平成23年2月9日（水）に青年部東海北陸ブロック研修会が『名古屋ガーデンパレスホテル』にて行われました。厳しく寒い今冬の気候とは打って変わり、当日は暖かくお天気にも恵まれ各県からは保育園・幼稚園の先生が総勢40名程おみえになりました。また前全国私立保育園連盟青年部会長の鈴木 右先生にもご臨席を賜りながら盛大に開催することが出来ました。



初めに鈴木 右先生より歓迎の挨拶を頂き、その後は保育園と幼稚園の県の補助要綱を参考に保育園側からは七宝福祉会 理事の小串先生、幼稚園側からは愛知県私立保育園連盟部長でもある長岡先生による説明がありました。テーマは『保育園・幼稚園から見てどうなる一体化』という趣旨で運営や補助金、給与体系などにまで及び、各会員も真剣な面持ちで聞き入っていました。その後は保育園・幼稚園の各々からお互いの運営や疑問点などについて盛んにディスカッションが行われました。

研修会終了後は名古屋めしの代表格である世界の山ちゃんにて手羽先を頬張りながら情報交換会を行いました。各会員とも話が尽きる事無くその後も2次会へ行き熱く語られていました。特に久しぶりの名古屋滞在の方は遅くまで楽しんでみえたようです。

今回の会を通して保育園と幼稚園の関係者が一堂に会し、お互いの意見を交換できる場は士気が高揚し非常に勉強になりました。会を通して保育園と幼稚園のお互いの違いを認識しこの先いずれ来るであろうこども園構想を若い年代である各会員が軸になって先を見据えて取り組んで行く必要があると思われました。今後もお互いが緊密で良好な関係を持ち、このような意見交換を行える会が開催される機会が増えていく事を懇願します。

ひおき保育園 川田 朋磨

● 第50回保育まつり【平成23年2月17日～18日 名古屋市公会堂】

第50回の保育まつりが平成23年2月17日・18日の2日間行われ、青年会議では男子が主に交通部、女子が会場部でのお手伝いを担当しました。

交通部では駐車場内での園児の安全確保を第一として、大型バスや自園バスの駐車場内への出入りや園児の乗り降りをお手伝いしました。駐車場の北側は昨年までバスの出入りも交通部で担当していましたが、今年度より警備員の方が3人配置されました。駐車場の出入り口付近では大型バスの出入りのため一般車両をその都度停止させていたので、過去には一般車両の方から苦情を言われることもありましたが、今年度は本職の警備員の方々のおかげで大きな苦情もなく、円滑な出入りができていたと思います。



西側では限られた駐車スペースに大型バスを十数台駐車させ、園児の乗り降りを手伝えました。ここは乗降車中の園児がバスと接触しないように一番細心の注意を払う場所です。南側でも電車や徒歩で来る園児、公園で写真撮影やお弁当を食べ終わった園児などが一般車両や自転車・歩行者と接触しないよう注意を払いながら園児を誘導しました。今年度は大きな苦情や事故もなく無事に交通部のお手伝いを終えることができました。

交通部・会場部ともお手伝いくださいました会員・OB会員の皆様本当にお疲れ様でした。

誓成保育園 渡辺一晃

● 松本先生（白山保育園）送別会【平成23年4月8日】

今年度、退会される白山保育園の松本先生、S保育園のS先生（所用により欠席）の送別会を4月8日 栄「スギモト」にて開催いたしました。

総勢23名の青年会議会員・OB会員の先生方が参加され、各円卓では松本先生、S先生に対する慰労と感謝と御礼を、これからの保育にまた・・・これからの青年会議に生かして行くのだと・・・」などなど話しが尽きずメインの「しゃぶしゃぶ」を食すよりも話すとなりました。（接待係の仲居さんたち ごめんなさい）



そして2次会へ恒例の「T店」へ移動し、さらに盛り上がりました。

自分が青年会議に入会した当時、青年会議の役員をされており、何も分からなかった自分に色々、教えて頂いたことを思い出しました。（あの頃から、ありがとうございました。）

OB会員となっても変わらず、例会等に参加して頂けると思いますので、これからもよろしくお願いいたします。

香流保育園 岩田 義範

今後の活動予定

平成23年5月14日（土） 青年会議定期総会





会長挨拶

平素は青年会議の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

毎年このことから、早いもので今年も残すところあと僅かとなってしまいました。一応、今年度で青年会議の会長の任期を迎えます。今年は秋の例会を2回も飛ばしてしてしまうという不祥事もあり、ダメっぷりを発揮してしまいました。皆様には多大なご迷惑をおかけいたしましたこと誠に申し訳ありませんでした。

今年は「子ども・子育て新システム」「幼保一体化」というとてつもなく大きな課題を迎えました。また、新年早々いくつもの選挙が控えています。今後の保育業界の方向に益々の不安を感じていらっしゃる方も多々お見えになるかと思えます。

新年を迎え、気持ちも新たに頑張っていきたいと思っております。会員の皆様からのご意見などいただけたら励みにもなりますし、今後の活動の参考になります。会員一丸となってこの難局を切りたいと思っておりますので、ご意見ご感想など、“どしどし”いただけたら嬉しく思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

名古屋民間保育園連盟 青年会議

会長 滝の水保育園 近藤 寛

(誓成保育園 渡辺 一晃)

第30回全国私立保育園連盟青年会議北九州大会

全国各地で記録的な夏の猛暑の影響もあり、ようやく秋の訪れを肌で感じることができるようになった10月14日(木)～15日(金)九州の玄関口である北九州市(リーガロイヤルホテル小倉)にて「全国私立保育園連盟青年会議北九州大会」が開催されました。

今回の大会は第30回目を迎える記念大会として、500名を大幅に超す参加者が集い盛大に開催され名保連青年会議からも、近藤会長をはじめ3名の会員が参加してまいりました。大会テーマである「子どもたちの視点で」に基づき、大会一日目の開会式では、主催者挨拶に続き、来賓からの挨拶で元厚生労働大臣である尾辻秀久氏より、大きな保育制度改革に直面している保育界に対しての声高な挨拶があるなど、大変な熱気を感じる幕開けとなりました。その後、厚生労働省からの行政説明、全私保連からの活動報告がなされるなど、大会初日から新たな保育制度が検討されているというこの時期にふさわしい活発な大会のとなりました。二日目は各分科会に別れての専門研修会が行われ、最後まで多くの参加者の熱気に包まれた記念大会となりました。新たな区切りを迎えた全私保連青年会議。次年度の31回大会は、1月に開催を予定している冬の京都で開催されます。名古屋からも近い土地での開催ですので是非多くの会員の皆様に参加して頂きたいと思っております。

この大会の前日である、10月13日(水)には、同ホテル内を会場として全私保連青年会議OB会が開催され、全国から30名以上OBの先生方がお集まりになりました。OBの先生方は思い出話に花が咲き会場は大いに盛り上がり、現役会員にとっては青年会議30年の歴史にふれる貴重な機会となりました。

ちなみに開催地の北九州市は近藤会長の第二の故郷。懐かしい友人とも楽しい時間を過ごしていたようです。

(昭和保育園 竹内 伝三)



活動報告 <H22. 7～12>

7月例会(ワケーション) <H22. 7. 13(火) 若宮フットサルパーク>

平成22年度7月の例会は、会員相互の交流をメインにした恒例のレクリエーション例会としてフットサルを開催いたしました。うだるような暑さの中、青年会議会員のみならず、保育関係業者(W社、J社)も招きフットサルリーグ戦を行い、ガチンコ勝負の熱戦が繰り広げられました。数年前からフットサルの例会を取り入れ、ルールも深まり、チームワークも良くなって、だいぶ戦い方がわかってきた青年会議チームは、力を合わせて大奮闘！惜しくも優勝は逃してしまいましたが、その一番の原因はスタミナ不足だということ、参



り、全員感じたところだったようでした。結果はともかく、参加した会員にとっては、日ごろの運動不足を少しだけ解消もできたことと感じます。もちろんその後の懇親会も含め、会員相互の交流も図る機会となりました。

ご参加頂きました会員の皆様、ありがとうございました。本当に大きなケガ無く終えることができ良かったです。来年以降もこの企画は続くのでしょうか？そろそろユニホームが必要かな...

(昭和保育園 竹内 伝三)

8月例会(サマーキャンプ) <H22. 8. 16・17(月・火) サマーセミナー>



昨年に続き、中日小野浦キャンプ村にて開催させて頂きました。今年度は、OB会員の先生や会員家族、子ども、事務員のMさんの参加もあり総勢25名となりました。テーマは自然体、「コップ10」もあり、子どもたちを中心に昆虫採集(せみやとんぼや蝶蝶など)を通じ生態系の豊かさを実感しました。引き続き、会長による「ロープワーク」の講習会を行いました。そして、「カレー班」と「コンロ班」などに分かれての「食育」です。(自分は食する係を担当しました。)

夜も更け、眠りに就こうとしましたが「熱帯夜」のため眠れず、改めて「文明の利器」の有難さ(日常の贅沢さ)をまさに体感することも出来ました。

今回の例会は、交流も含め幅の広いバランスの取れた意義のある研修となったと思います。

(香流保育園 岩田 義範)

9月例会(研修会) <H22. 9. 7(火) 名保連事務所>

9月例会は保育企画室保育指導係からの提案により、緑区にある子供の家保育園の服部園長先生をお招きして研修会を行いました。服部先生は現在の運営費補給金制度の創設に携わった方で、36年前の創設時の状況から現在に至るまでについてお話をいただきました。公民格差に疑問を持たれていた当時、民間保育園の職員処遇改善の為に行動を始められたこと。自園が終了後、毎日のように市役所に通われコピーや電卓さえ普及していなかった中で相当の事務作業を伴いながら試行錯誤されていたこと。新たな予算を取るために県知事に直接かけあったこと等々公民格差是正のためにご尽力され現在の制度を確立されるまでには相当なご苦労があったと思います。

今日まで続いてきた運営費補給金制度を今後どのように維持していくのか、我々各園が独自の試算表を作りそして分析していかなくてはならないことなど保育のトップとしてはもちろんのこと、経営のトップとしても取り組まなければならない課題を教えてくださいました。更に名古屋の保育を担う若手に対して、既存の制度にあぐらをかいているだけではなく、自らが新たなパイオニアとなって切り開いていく覚悟があるのかという姿勢を深く問われた気がしました。

服部先生がお話くださったことを真摯に受け止め、どう実行していくか、各々が取り組む保育に意識改革が必要であると論じられた研修会でした。

12月忘年会 <H22. 12. 4(土) 名鉄グランドホテル>



今後の活動予定

H23.1月下旬 1月例会(東海北陸ブロック例会)

H23.2.17・18(木・金) 保育まつり







活動報告 <平成 22 年 1 月～4 月>

◆ 東海北陸ブロック例会（研修会）【平成 22 年 1 月 20 日(水)】西本願寺岐阜別院にて

1月20日(水)に岐阜市の西本願寺岐阜別院にて全国私立保育園連盟青年会議の東海北陸ブロック岐阜例会が行われました。愛知、三重、岐阜、福井より総勢約40名の参加者が集いました。今回の岐阜例会のテーマは『こどもと造形～陶芸体験の実践を通して』ということで、もう一度保育者の原点に立ち返るという意味を込め、現場における活動の一例として陶芸が取り上げられました。陶芸家の長沢直人氏をお招きし、長沢氏と陶芸を通じて交流のある長良保育園園長の脇淵徹映氏とともに陶芸についてのお話をいただきました。

脇淵氏が陶芸に関わるようになり、園生活で色々と考えさせられる中で、「現代は子どもの思い通りになるもの、大人の思い通りになるものばかりが多い。陶芸は自分の思い通りにならないものがあるということを考えさせる意味がある。子育てとは第一次産業と同じく、なかなか思い通りにならない世界である。」と話されていたことがとても印象に残りました。講演の後、素焼きしたピアグラスに竹串で模様を彫る絵付け体験を長沢氏よりレクチャーしていただき、参加者全員で行いました。どの参加者も黙々とピアグラスと向き合い絵付けを行っていました。その後の情報交換会では参加者それぞれが交流を深めておりました。なかなか体験できない陶芸の世界にふれられたこと、そして他県の保育園の先生方と交流をもてたことはとてもいい経験になりました。



誓成保育園 渡辺一晃

◆ 第 49 回保育まつり【平成 22 年 2 月 18 日(木)～19 日(金)】名古屋市公会堂

今年も「卒園をお祝いする会」（保育まつり）に青年会議及びOB会員の皆様にご参加、ご協力いただきまことにありがとうございました。実行委員長の花園保育園 田辺先生のもと前日の準備、及び交通部・会場部のお手伝いにより無事に終える事が出来ました。来年は節目となる50回目の保育まつりになります。次回もより一層のご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

◆ 三重県私立保育園連盟青年部 設立30周年記念特別研修会・祝賀会【平成 22 年 3 月 5 日(金)】四日市都ホテルにて

三重県私立保育園連盟青年部では設立30周年を迎え、3月5日(金)四日市都ホテルにて記念特別研修会・祝賀会を開催され、名保連青年会議会長の代理として特別研修会及び祝賀会に参加してまいりました。研修会では絵本作家であられる宮西達也氏を講師に、実際の読み聞かせを交えながら、ご本人の絵本の中に込めた思いをお聞かせ頂きました。会場に詰め掛けた参加者全員の心が優しく包み込むような講演でした。大変心の温まり、保育の中での絵本の重要性を改めて感じると共に、子どもたちにも絵本を通して優しさや思いやりなど多くの事を伝えたいという思いを強く感じました。その後行われた祝賀会では、東海北陸ブロックから各青年部長を始め、全国私立保育園連盟青年会議役員が駆けつける中、開会に先立ち、三重県私保連青年部であり今回の発起人の一人である田中嘉久氏による和太鼓の演奏が披露されました。その後の歓談では30年という長い歴史を三重の先生方と噛み締めながら大いに語り合い、地元青年部OBの方々とも世代を超えて親睦を深めることができました。

昭和保育園 竹内伝三

◆ 親睦旅行（兼黒田先生送別旅行）【平成 22 年 3 月 13 日(土)～14 日(日)】呼帆荘にて

平成22年3月13日(土)から14日(日)にかけて南知多は内海浜にある呼帆荘へ親睦旅行に行ってきました。集合は近隣の先生方で各々集まっていたいただき、各グループ毎に現地集合となりましたが、特段遅れる方もなく早めに集まって皆さん温泉につかっておられました。日ごろの疲れをゆったり温泉につかって癒した後はメインイベントである大宴会が、青年会員、OB会員合わせて15名の参加者の中、盛大にスタートしました。大宴会では長年、青年会を盛り上げ取り纏めてくださった黒田先生が今限りで引退されるため送別会も兼ね合わせまして皆さん今までの思い出話を語り合い楽しんでおられました。この送別会のために名保連の藤岡会長もお見えになり、また残念ながら参加出来なかった先生方からもお礼品が集まり、黒田先生の青年会議での人望の高さを改めて拝見することが出来ました。大宴会の後は2次会のカラオケ、そして部屋に戻ってからの3次会とそのままの勢いで夜遅くまで会話が花が咲いていました。



二日目は、各グループに分かれゴルフや近郊の散策を楽しむことになりました。私はゴルフに参加したため他のグループの活動がわかりませんでしたが、ゴルフ組でも黒田先生が大活躍をし、当日のトップ賞を総取りしていたのを覚えています。

こうして二日間に渡った旅行会も無事終了し、皆さん次年度に向け心身ともに気合いも新たにリフレッシュして帰られて行きました。

ぜんしん保育園 藤岡賢太

◆ 保育企画室との懇親会【平成 22 年 4 月 21 日(木)】「ばっかす」にて

平成22年4月21日(水)に名保連事務所近くの「ばっかす」にて、名古屋市子ども青少年局保育企画室の方々と青年会議の会員・OB会員で懇親会を行いました。保育企画室より渡辺室長、白石係長ら沢山の方にご出席いただきました。また昨年度まで青少年局保育企画室の室長でおられた宮崎前室長(今年度より中川区民福祉部長)にもお越しいただき大勢の懇親会になりました。

宮崎福祉部長よりこれからの名古屋の保育園は、保護者の多様化するニーズをさらにきめ細かく捉え地域に根差した保育園になっていかなければいけないと述べられました。今後、市場化していこうシステムの中で保護者のニーズに応えていかなければ保育園として生き残っていくことは困難になるだろうとお話しされ、また今後の国の動向に我々はアンテナを張り巡らせて情報を収集する必要があり、今、保育園で何がしたいかどういった事が出来るのかを判断し、行動に移さなければいけないとお話しされました。これからは今までの様に全ての保育園が均一ではなくその地域に根差した保育園でないと保護者から選ばれないと述べられ、会員各々危機感を持って真剣にお話しを聴いている姿が印象的でした。

その後は、懇親会という事もあり、保育課と青年会員の相互が保育について形式ばらずぎっくばらんに意見を言い合い非常に実りの多い中身の濃い懇親会ではなかったかと思いました。店名の「ばっかす」とは皆様ご存知の通り、ギリシャ神話に出てくる酒の神様として有名ですがその後もお酒はほどほどに保育について保育企画室と青年会員が意見交換をして大盛況に懇親会を行う事が出来ました。今後も保育行政と保育現場が相互に意見を交換し理解を深めながらこれからの保育をともに考えていくためにもこういった懇親会の場を続けていければと思いました。

ひおき保育園 川田 朋磨



会長挨拶

日頃は青年会議の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
早いもので、今年も残すところあと僅かとなってしまいました。今年度から青年会議の会長という役職を預かりましたが、皆さんに満足いく活動ができたかどうか、不安でなりません。

今年は新市長に変わり、今後の保育の方向に若干の不安を感じていらっしゃる方も多々お見えになるかと思えます。また、名古屋市に限らず全国に目を向けても、政権与党も交代し、今後ますますの改革が予想されると思えます。

新年を迎え、気持ちも新たに頑張っていきたい、会員の皆様に少しでも有意義な活動になるよう役員一同頑張っていきたいと思えます。なにかと頼りないところも多々あるかと存じますが、どうぞ“あったか〜い目”で見守っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

名古屋民間保育園連盟 青年会議  
会長 水広保育園 近藤 寛

活動報告 <H21. 8~12>

8月例会 (サマーキャンプ) <H21. 8. 16・17 (日・月) サマーセミナー>



8月16日、17日と残暑もまだまだ厳しい中、知多郡美浜町にある小野浦バンガロー村へサマーセミナーに行ってきました。すぐそばには小野浦の海水浴場があり海と自然に囲まれた中で、竹内(伝)先生や近藤先生による魚の捌き方講座があり、キャンプ地ならではの炭おこしからのバーベキューがあり、渡辺先生のお子さんもお交じって昆虫採集と名古屋市内ではなかなか味わえない自然とのふれあいがありました。夜にはOB会員の先生方もご参加いただき近くの温泉にも行き、夏場の疲れをリフレッシュしつつ、皆さん夜遅くまで語り合っておられました。

翌日はグループに分かれ小野浦の海や自然をそれぞれ満喫しつつ解散。普段の研修会とはまた一味違った充実した例会になったと思えます。

(ぜんしん保育園 藤岡 賢太)

9月例会 (研修会) <H21. 9. 7 (月) 名保連事務所>

平成21年9月7日(月)名保連事務所において9月例会(研修会)を行いました。当日は名古屋市の保育企画室より、白石係長、服部主事、島田主事、佐藤主事をお招きしまして、青年会議会員13名の参加がありました。今回の例会は「今、青年会議に期待すること」というテーマをもとに座談会という形で形式ばらずに意見・情報交換を行いました。始めに、白石係長より名古屋市の保育の近況についてお話をいただきました。保育の予算については厳しい財政状況の中、今後補助金の削減や保育料の増額が避けられないところまできていること。保育の仕組みが見直され、今後パウチャー等の利用権制度に移行される可能性があること。名古屋市は全国的に見ても待機児童数が多い市であること。など、私たち青年会議会員にとっては保育をとりまく厳しい状況をあらためて感じさせられました。その後、会員より普段疑問に思っている様々な意見が出されました。特に待機児童解消のための意見が多く出され、白石係長より適切なお返事をいただきました。

例会終了後、近くの居酒屋に場所を移し、保育企画室より宮崎室長始め3人の方々にもお越しいただきました。さらに名保連会長の藤岡先生、青年会議OB会員の方々にもご参加いただきました。お酒の席での意見交換・情報交換は保育企画室の方々との親睦を深める絶好の機会でもあったと思えます。今後も、保育企画室との研修の場として、また親睦の場としてこの例会を開催していきたいと思えます。

(誓成保育園 渡辺 一晃)



10月例会 (レクリエーション)



<H21. 10. 15 (木) 熱田アーバンボウル>

10月15日 熱田区 アーバンボウルにて、レクリエーションを行いました。当日の天候は良好・・・室内のため無関係ですが・・・7月例会が、諸事情により中止となり、今年度最初で最後のレクリエーション?でもあり、OB会員の先生方や名〇連事務員さんなどの参加もあり、最大に盛り上がりました。優勝は頭脳のプレーが冴えたM区のH先生!(ディフェンディングチャンピオンの前会長は・・・所用により?・・・)現会長は気配りに気遣い、気遣い・・・などなど順位よりも、親睦を深める絶好の例会となりました。2次会は、金山に移動し、ボーリングには参加出来なかった先生方も加わり、更に盛り上がりを見せました。日頃の聞けない各園の様子、行政や今後の見通しなど、大変有意義な時間となりました。今回、参加出来なかった先生方には、次回の例会にてお会い出来ることを心より願っております。

(香流保育園 岩田 義範)

11月例会 (現地研修会)

<H21. 11. 5 (木) のなか保育園>

青く澄みきった秋空の下、静岡県富士宮市にある野中保育園へOB会員含め7名で見学に行きました。目の前には富士山が広がり、自然あふれる環境の中で大地保育と銘打って展開されている保育は、都会では考えられないほどのんびり自由で、伸び伸びとしていました。園舎も独特で、各保育室には子どもの背丈程の中2階部分(凹ト)があり、それが隣の保育室と迷路のようにつながっていて、登り棒があったり、ターザンの綱があったりで、遊環構造と呼ばれる園舎そのものが楽しい遊具のように感じました。子どもたちはとても元気で、絵を描きたい子は絵を書く部屋に、園庭で遊びたい子は園庭で木の実を集めたりと、子どもたちが自主的に生活している感じでした。園庭にはアスレチック遊具やキャンプ小屋・はしごの上の秘密基地・池・温泉・畑・ブタ小屋・バナナの木などもあり、いろんな遊びを展開できるようなアイテムでいっぱいでした。見学の後、園長先生との座談会で、大地保育の目標や毎年夏に行うどろんこまつり、“子どもの絵はその日の心を映す”...など熱く語って下さり、また青年会員らの質疑応答で盛り上がりました。驚きの多い研修でしたが、自園でも取り入れられる部分は活かしたいと思えました。帰りに皆で富士宮名物の焼きそばをおいしくいただき、参加者間の親睦を深めました。

(黎明保育園 竹内 良直)

12月忘年会 <H21. 12. 12 (土) 重慶飯店 松坂屋店 >

第29回全国私立保育園連盟青年会議秋田大会

紅葉真っ盛りの秋、しかし凍てつくような寒さの中、第29回全国私立保育園連盟青年会議秋田大会が平成21年11月18日(水)~19日(木)に秋田県秋田市の秋田キャッスルホテルにて開催されました。大会初日は、開会式の後「かだれ!かだるべ 童のごと」のテーマのもと、保育制度、子ども虐待、保育の危機管理、保育の環境作り、自然ふれあい遊びについて、と5つの分科会が行われました。また情報交換会では、きりたんぼや地元の郷土料理を頂きながら、なまはげ郷神楽(さとかぐら)による和太鼓となまはげ、秋田出身のジャズシンガーによるジャズライブを鑑賞しながら、秋田の方、全国の方々と懇親を深めました。大会2日目には、保育情勢報告、そして秋田出身で、現在は秋田から仕事場へ出かけられているという柳葉敏郎氏による記念講演が行われ、「かだれ!子育ての醍醐味を!」をテーマに、2人の子の親として家族、故郷への想い、地域への貢献を中心にユニークな子育て持論を展開されました。

今回は、秋田という遠い地での開催でしたが、大会テーマ「かだれ!(参加しよう)かだるべ(大いに語ろう)童(わらし)のごと」のように、子どもについて語り、考えることができ、秋田の熱い心やなまはげ、和太鼓、きりたんぼを始めとする郷土料理、秋田杉など自然あふれる地、身にしみる寒さや霞や霰までも体験できたことは大変良い経験になりました。そして、閉会式では、竹内伝三先生が全国青年会議の副会長として挨拶に立ち、拍手喝采で閉会したことをお伝えして報告とさせていただきます。

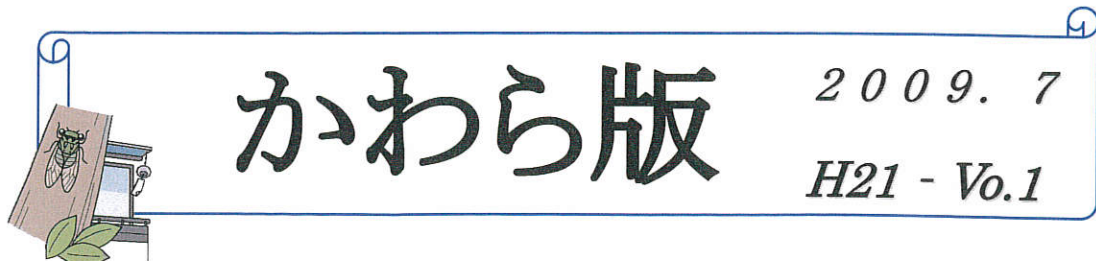
(新瑞幼児園 柘植 信秀)

今後の活動予定

- H22.1.20 (水) 東海北陸ブロック例会 (本願寺岐阜別院)
- H22.2.18・19 (木・金) 保育まつり







# かわら版

2009. 7

H21 - Vo.1

## 【名古屋民間保育園連盟 青年会議 役員紹介・挨拶】

### 会長 近藤 寛 (水広保育園)

●平成 21 年 5 月 23 日 (土) に中日パレスにて行われた青年会議総会において、今年度より松井前会長の後を継いで会長を務めさせていただくことになりました。名古屋市も今年度より、直接補助や直接契約、認証保育園などを公約に掲げた新市長となりました。これから、かつてない大きな変革を迎えることが予想されます。青年会議としてできること、またやらなければならないことも多くあると思います。ひとつひとつを考え行動に移し、この活動が会員の皆様にとって意義ある会となるよう、努めてまいりたいと思います。歴代会長のように、うまくまとめ上げる事はできないとは思いますが、役員の方、会員の皆様そして OB の諸先輩の方々の力をお借りして、この会を楽しく盛り上げていきたいと考えていますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

### 第一 副会長 竹内 伝三 (昭和保育園)

●今期と来期名保連青年会議の副会長を務めさせて頂くことになりました、昭和保育園の竹内伝三です。前期も松井会長の下でも副会長を務めさせて頂き、全私保連青年会議の担当をさせて頂いておりました。今期も引き続き、副会長職と全国担当として全私保連青年会議幹事会への出席を中心に活動させて頂きます。名古屋市政では市長の交代、国政では政権交代が間近に迫っていると言われております。民間保育園を運営する者として、今迄以上に幅広く、多様なスキルを身につけていくことが必要になるのではないかと考えます。私自身、全国から発信されている多くの情報を名保連青年会議へまた会員の皆様に伝えていき、名保連青年会議という団体で、できることを皆で考え活動していきたいと考えております。どうぞ、宜しくお願い致します。

### 第二副会長 岩田 義範 (香流保育園)

●近藤会長のフォローに微力ながら任期を全うさせて頂く所在でございます。先行き不透明な時代になっていきますが、色々な課題を乗り越えるため、また様々な情報や憶測が飛び交う中、その情報交換、その課題について気軽に相談し話し合える場としてこの会 (青年会議) の意義があるのでは?と考えています。それが独創的な意見や考え方でも・・・(自分のこと?) とりあえず、会員の先生方、OB 会員の先生方と例会などを通じ、お会い出来ることを楽しみにしております。(一期一会です。) よろしくお祈り致します。

### 会計 柘植 信秀 (新瑞幼稚園)

●今年度も引き続き会計を担当させて頂くことになりました。(新瑞幼稚園の柘植です。) 私の他に、今年度から竹内良直先生・藤岡賢太先生と若いお二人にも会計に加わって頂き、三人体制で近藤寛新会長の下、協力して運営を進めていきますので、会員の皆様どうぞ宜しくお願い致します。

### 会計 竹内良直 (黎明保育園)

●黎明保育園の竹内です。暑い夏ですね、園ではプール遊びにお泊り会...子どもたちとワイワイ過ごしています。青年会の賑やかで頼もしい方々に囲まれ、今年も一年頑張りたいと思います。よろしくお祈りいたします。

### 会計 藤岡 賢太 (ぜんしん保育園)

●今年度から会計としてお手伝いをする事になりました。4 月からは夜間の保育士学校にも通っており、毎日あおなみ線や地下鉄を使って通学をしていると、学生をしていた頃の記憶が蘇り、懐かしいような新鮮な気持ちで日々いっぱいです。

### 事務局長 渡辺 一晃 (誓成保育園)

●今年度より事務局長をやらせていただくことになりました。会員の皆様とは例会を通じて、様々な交流がもてればと思います。名古屋の保育のあり方について若手ならではの発想を大事にし、同志として結束力の向上を目指していきたいと思っております。

### 書記 神野 文彦 (花園保育園)

●蒸し暑い夏 会員各位いかがお過ごしでしょうか?七夕も過ぎ 麦茶 エアコン 水風呂と体を冷やし過ぎての腹痛を繰り返すシーズンに入りました。日陰ばかりに入らず青年会の熱さをいっそう盛り上げていきたいと思っております。

### 書記 川田 朋磨 (ひおき保育園)

●非常に蒸し暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか?私どもの保育園は先日お泊り保育が終わり一先ず大きな行事が終了いたしました。この時期に事務的な仕事をこなしていきたいと思っております。挨拶が遅れましたがこのたび書記をやらせて頂きます川田 朋磨です。こういった書面で挨拶文を書くのは初めての事なので書いていただけで緊張します。初めての事で何も分かりませんが皆様の足を引っ張らない様、自分なりに任務を全うしていきたいと思っておりますのでどうか宜しくお願い致します。

**第 5 2 回全国私立保育園研究大会 (高知大会) 報告 2009 年 6 月 17 日 (水) ~ 19 日 (金)**

高知県で開催された第 5 2 回全国市立保育園研究大会「高知大会」は、第 1 日目に、開会式、行政説明、基調報告、パネルディスカッション『みんなで育む大切ないのち』が行われました。第 2 日目は、子どもの発達、保育制度の新しい仕組みのあり方など様々な分野の分科会に別れて熱心な討議が行われました。

全私保連青年会議の代表として私が携わらせて頂いた、第 1 4 分科会では、『保育所運営の今後の展望を考える～公立保育所の民間移管について考える～』をテーマに各自治体で段階的に進められている民間移管について、少子化問題や都市部の待機児童問題などの背景を踏まえた上で、民間移管についての問題点や重要視する内容について改めて考えていながら、民間保育園としての役割、また自園の今後の運営の展望を考える機会とすることを目的として実践報告、パネル ディスカッションを行いました。

午前中の実践報告では、仰 一成氏 (神戸市 なかはら保育園園長)、城戸 久夫氏 (岐阜県 社会福祉法人いしずえ会理事長)、星野 勤 氏 (社会福祉法人杉の子保育会 理事長) による民営化受託園の実践報告がなされ、地域差のある中で、共通する部分、そうではない部分の比較も踏まえて民営化の受託運営に対する実践報告が行われ、午後からは、櫻井 慶一氏 (文教大學 人間科学部人間科学科 教授)、野村 史子氏 (保育園を考える親の会 事務局)、大江 恵子氏 (横浜りとるばんぶきんず 園長)、をパネラーにお招きし、私、竹内 伝三がコーディネーターとして様々な見地から今後の民営化の進め方について参加者を交えたディスカッションを行いました。

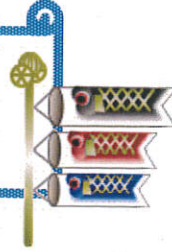
大変幅広く、議論の進め方が難しい大きなテーマである公立保育園の民営化ですが、多数の登壇者、参加者と共に民営化に対する知識を深め、法人の運営に対して考える機会にして頂いたことと感じます。

遠く高知の地までお越し頂き、参加した会員の皆様、お疲れ様でした。一年に一度の全国研究大会という場で、皆様それぞれに学びや気づきがあったことと思います。是非自園の運営に活かして頂きたいと思っております。

次は、11 月 18 日 (水)、19 日 (木) に全私保連青年会議の全国大会「秋田大会」が開催されます。是非皆様にご参加頂きますようお願いいたします。

昭和保育園 竹内伝三





活動報告 <H21.1~3>

◆ 1月例会（研修会） <H21.1.15.thu. 名保連事務所>

平成21年名保連青年会議の最初の例会は、『あなたは民間移管を引き受けることはできますか?』と題して行われました。この例会は、昨年8月例会として企画されておりましたが、なんと当日東海地方に接近した台風の影響により開催できなかった例会でした。その後、例会の講師をお願いしておりました名古屋市保育課担当主査であられる白石氏の都合もあり延期、晴れて1月15日（木）での開催に至りました。



この日の例会にはOBを含む16名が参加。全国的には既に進んでいる事業ではありますが、名古屋市においてはここ数年で動き出した民間移管について、名古屋市の考える方向性と取り組みの内容、そして名保連や青年会議に期待することを講演して頂きました。また、名古屋市の民間移管について今年度までの取り組み事例と共に、現状に対する今後見通しに付いてもふれて頂くこともできました。白石主査からは、事前の打ち合わせから、だいぶ疲れ気味で8月よりもトーンダウンしていると、聞いていたので、若干心配をしていましたが、最後には『民間保育園からも民間移管に反対している人たちを含めた市民に対して、民間保育所の素晴らしさを伝えるために声をあげていく必要があるのではないか?』という力強い助言も頂きました。

例会後は、10名もの保育課の方が懇親会に駆けつけて頂きました。保育課の青年会議に対する期待感を感じると共に、保育について、制度について理解を深める機会になりました。

たまたま、年明け1月に延期された例会となりましたが、平成21年の青年会議の幕開けとしてふさわしい例会になったのではないかと感じます。ご参加頂いた会員の皆様、保育課の皆様、ありがとうございました。  
昭和保育園 竹内伝三

◆ 2月 第48回保育まつり <H21.2.19.thu.~2.20.fri. 名古屋市公会堂>

今年も「卒園をお祝いする会」（保育まつり）に青年会議及びOB会員の皆様にご参加、ご協力いただきましてありがとうございました。実行委員長の花園保育園 田辺先生のもと前日の準備、及び交通部・舞台部・会場部のお手伝いにより無事に終えることができました。伝統あるこの行事を継続させていくため、今後ともご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

◆ 3月例会（研修会） <H21.3.12.thu. 名保連事務所>

3月12日（木）、名保連事務所にて青年会員ならびにOBの方々合わせて約20名参加のもと3月例会を開催しました。講師として萩野保育園の長谷川考範先生をお迎えして「保育と仏教」というテーマで講演していただきました。



長谷川先生ご自身の生い立ちとして、お寺と保育園長の息子という立場での学生時代やお坊さんとしての修行期間、そしてお寺の仕事を手伝われながら一人の園児との関わりから保育に興味を持たれた転機を、静かながら独特の重みあるお声でお話していただきました。2代目、3代目の多い青年会員としては身に覚えも明るく入りやすい話の中、ご自身が仏教を通して学んだ「我を捨てる」という教えが、保育の中では子ども達に何かを治めるのではなくあるがままに感情をぶつけ気持ちを伝えられるよう「自分を出す」考えへ変化していった様など目から鱗が落ちる思いで非常に勉強になりました。こちらの気持ちを伝えるという事は時として、自身および同僚の職員のあり方を見直す勇気を持つことであるという厳しさもひしひしと伝わり、さっそく私自身この話を職場の先生達に話したい気持ちになりました。

講演、質疑応答の後に行ったいつものお店での懇親会もほとんどの方がそのまま参加され、その場でも一人一人に声をかけてくださる姿は印象的で、皆なごんだ雰囲気の中で親睦を深める事が出来たと思います。ご講演ありがとうございました。  
ぜんしん保育園 藤岡賢太

◆ 東海北陸ブロック例会報告

平成21年1月31日（土）栄にあるホテル『THE b NAGOYA』にて東海北陸ブロック例会を開催致しました。当日は各県団体の会長をはじめとする37名の多数の参加者となりました。また全私保連副会長であり東海北陸ブロック長でもある藤岡省吾名保連会長にもご臨席を賜りながら盛大に開催することが出来ました。



研修会では全私保連青年会議会長の鈴木右氏（愛知県）に『全私保連青年会議からみた青年会議とは』という内容で、また全私保連青年会議事務局長の福嶋義信氏（熊本県）には『自治体団体青年会議の活動の役割と責任』という内容で講演して頂きました。講演では青年会議規定による青年会議の目的・これまでの青年会議の経緯・活動について・青年会議の役割などについてのお話しをされました。青年部だからいいのではなく青年部だからやっていかないといけないという鈴木右氏のおことばにこれからの青年部の役割と責任の重要性に改めて身の引き締まる思いがしました。

名古屋といえば名物料理手羽先。そして手羽先といえば『世界の山ちゃん』ということで研修会が終了してから場所を『世界の山ちゃん』に移動して情報交換会を行いました。手羽先を頬張りながらの情報交換会では各会員同士、話が尽きることがありませんでした。その後も2次会3次会と・・・。特に久しぶりの名古屋滞在の人は遅くまで楽しんでみえたようです。

保育を取り巻く環境も年々厳しくなっていますが各エリアの青年会が力を結束し青年部だからこそその若さを前面に押し出し、自分で考えて行動することこそがこどもの未来に繋がるという考えを念頭においてより活性化した活動を行っていきたくと思いました。  
ひおき保育園 川田朋磨

◆ 今後の活動予定 ◆ H21.5.23（土） 名保連青年会議総会

【編集後記】（書記より）

今年度三回目のかわら版を無事に発行することができました。ご協力いただきました関係者の皆様に改めて御礼を申し上げます。自園だけでは見えない新しい発見をすること、他園との交流など、青年会議の活動には様々な要素があります。将来の保育業界のために一人でも多くの会員に参加していただき、横の繋がりを深めていただければと思います。

誓成保育園 渡辺一晃





名保連青年会議

かわら版

2008. 12

H20 - Vo. 2



## 会長挨拶

早いもので今年も残りわずかとなりました。日頃は青年会議の活動にご理解、ご協力を賜わり心よりお礼申し上げます。現在、保育を取り巻く環境は皆さんご承知のとおり大きな曲がり角にきています。市場原理の導入に伴う直接契約・パウチャー制、最低基準の見直し、運営費の一般財源化等数多くの問題が山積しています。名古屋市でもいよいよ公立保育園の民間委託が現実として動き出しており、予断を許さない状況になっています。この中で、これからの時代を担う若者が集う青年会議の役割はいつの時代にも増して重要になってきます。具体的には時代に合ったタイムリーな内容の例会を設けることで、数多くの会員の皆さんに足を運んでいただき、「保育」に対して論じ合う中で、活発な意見交換がなされることを期待しています。そして青年会議の活動や交流を通して、失敗を含めた多くの経験を積んでいただき、成長を糧にさせていただけたら、と願っております。

2009年が会員の皆様にとりまして、明るく元気な年になりますよう心よりお祈り申し上げますとともに、これからも皆様のご意見にしっかりと耳を傾け、活気ある青年会議にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお祈りいたします。

名古屋民間保育園連盟 青年会議  
会長 清瀧保育園 松井睦朋

## 活動報告 <H20.11~12>

### ◆ 11月例会① (レクリエーション) <H20.11.6.thu. 熱田アーバンボウル>

10月に予定していた例会でしたが、諸事情により11月に行うことになりました。それでもOB会員を含め15人の参加がありました。松井会長の挨拶及び始球式を皮切りに参加者が次々にゲームをスタートさせました。今回の参加者はすべて男性であったため、昨年とは違った闘志むき出しの白熱した雰囲気だ。どこのレーンからもストライクやスペアが続出するハイレベルな展開となり、ハイタッチの光景がいたるところで見受けられました。結果は昨年チャンピオンだった花園保育園の神野先生が4位に甘んじる波乱があり、3位がパワーとクールさを兼ね備えた泉坊保育園の吉川先生、2位が全国を飛び回りながらも疲れをまったく感じさせない昭和保育園の竹内先生、そして1位がトータル336点をたたき出し、勝負事のごぞという強さを見せた清瀧保育園の松井会長でした。その後の懇親会ではメニューが「かに鍋」であったため、いつもより言葉少なくなりながらも各々親睦を深めておりました。今回の例会は、ボーリングでのけが人は出ず、かにのとげで手を切った方が数名いた程度で無事に終えることができました。



誓成保育園 渡辺一晃

### ◆ 11月例会② (研修会) <H20.11.28.fri. ぜんしん保育園>

園舎を改築されたばかりのぜんしん保育園さんへお邪魔し、OB会員を含め20名ほどの参加のもと、青年会議11月例会を開催しました。

夕方より藤岡信吾園長先生に案内していただきながら見学した園舎は、竣工を終えたばかりで全てが真新しく、うらやましい限りでした。自然との共生をイメージしたデザインや色彩、園舎を通る太い柱の周りに人が集うよう設計された談話コーナー、屋上の遊び場、園庭への視界が開けた保育室、広い調理場、レインボーカラーの非常階段等々、枚挙に暇がないほど園長先生のアイデアがあふれていました。また、トイレ等の水周りについては、TOTOTOからの提案と園長先生のアイデアが融合し、斬新な機能性が盛り込まれていました。都合により残念ながら11月例会へ参加できなかった方は、ぜんしん保育園さんのホームページ(<http://www18.ocn.ne.jp/~zenshin/>)やTOTOTOの工事事例紹介ページ(<http://tinyurl.com/6ebftk>)にアクセスしてみてください。

施設見学の後は、「新園舎に夢を託す—改築整備事業のコンセプト—」「企業社会と保育の世界・その常識は非常識—リーダー論—」の二題で、園長先生に講演していただきました。園舎工事の話、企業に勤務されていた経験を基にした、企業でのリーダーの資質、保育士のリーダー育成等だけでなく、世界経済の歴史や現状まで、深く内容の濃い話を分かりやすく教えていただきました。

講演の後は近くのうどん屋さんへ会場を移し、青年会議会員からの質疑応答や情報交換など、美味しいうどんをいただきながら、様々な話題で盛り上がり、和んだ雰囲気の中で、藤岡先生を初めとした参加者間の親睦を深めることが出来ました。



笠寺幼児園 近藤敏矢

### ◆ 12月忘年会 <H20.12.13.sat. 錦城 栄店 >

#### ◆ 全国私立保育園連盟青年会議 ふくい大会報告

青く澄み切った秋空の下、赤や黄色に染まった北陸の地、福井市において平成20年11月13日~14日に、第28回全国私立保育園連盟青年会議ふくい大会が開催されました。

「愛つるつるいっぱい」をテーマに13日の開会式では、マリンバとハーブ演奏による秋の童謡に全国からの参加者340名が耳を傾け、その後は各々保育内容、小児医療、保育園経営、保育実技、フィールドワークと5つの分科会に分かれ、5つの視点から保育が語られました。

そして、情報交換会では、解禁されたばかりの越前ガニやおろし餅など旬の福井の味とともに地元の楽衆玄達によるライブ演奏、大棟耕介さんのクラウンも加わり、全国の若い保育関係者との交流が図られました。

翌、14日には、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐、障本英俊氏を招き「保育行政の動向と課題」と題し、保育情勢報告が行われました。保育情勢報告の後には、特別シンポジウムとして、『「新保育指針を読み解く複数の視点」~愛をキーワードに保育を語る~』と題して、遠山洋一氏をコーディネーターにシンポジストとして榎沢良彦氏、西村重稀氏、室田一樹氏を迎え、新保育所保育指針、保育課程編成、個別指導計画、最低基準、小学校との連携、5領域について等々内容は多岐に渡り、活発な議論がなされました。そして、最後は焼き鯖寿司をお土産に閉会となりました。

今回の大会に参加して、分科会は勿論のこと特別シンポジウムでは、専門家や現場の園長先生から現在ある保育の様々な意見が述べられ、大変興味深く勉強になり、有意義な時間を過ごしました。また、全国大会だけに全国津々浦々から福井の地に若い保育関係者が集まり交流を深めることができました。全国私立保育園連盟青年会議と福井県保育同友会青年部の皆様ありがとうございました。最後に、「つるつるいっぱい」とは、福井県の方言で、意味は「コップから水が溢れ出る直前の状態」を表したものだそうです。

新瑞幼児園 柘植信秀

#### ◆ 今後の活動予定

- ◆ H21.1.15 (木) 1月例会 (研修会) 保育企画室職員の講演
- ◆ H21.1.31 (土) 東海北陸ブロック例会
- ◆ H21.2.19・20 (木・金) 保育まつり

【編集後記】 今年も早くも年の暮れ、行く先々で1年が早い早いと耳にする。とうの昔の学生時代には、嫌いな授業やマラソン大会がなんと辛く長い時間なのだろうと思っていた。早く感じるも、遅く感じるも個人の感覚によるもの。1秒も1日も、誰にとっても1秒であり、1日である。実はこの世の中で時間ほど平等なものはない。時間をどう使うか、どう感じるかによって個人の「時間価値」が生まれる。時間はだれにでも平等だが、「時間価値」が不平等を作り出している。そうはいってもやっぱり今年も早かったなあ。

誓成保育園 渡辺一晃





### 会長挨拶

5月24日(土)の平成20年度定期総会には本当にたくさんの参加を頂きまして誠に有難うございました。昨年に引き続き、会長として会員の皆様楽しく集える場を数多く提供していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

昨年の活動を簡単に振り返りますと、青年会議OBの先生方の講演や宮崎保育企画室長との懇談会、フットサルやボウリング等のレクリエーション、又、尊敬してやまない名港保育園さんへの施設見学など、ほぼ事業計画通りに出来たこと、大変嬉しく思っております。さらに年度末には、今まで本当に青年会議のために尽力して下さいました瑞雲保育園・渡辺英仁先生の送別会を盛大に開くことができ、感慨深いものがありました。

昨今の保育をとりまく状況ではたくさんの情報が入り乱れており、何が正しく、何が間違っているかの判断が認識しにくい状態になっています。こういう時こそ、己の能力を信じて情報に惑わされることがなく、しっかり自分自身の目で見て判断し、しっかり自分自身の耳で聞くことで正誤を見極め、この難局を乗り越えていくことが大事ではないかと思っております。

生真面目で、堅物で、面白味のない私ではありますが、これからもぶれることなく、自分自身の考えていること、やりたいことを実行し、これからの時代を担う若い会員の先生方に青年会議の素晴らしさを伝えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

名古屋民間保育園連盟 青年会議 会長 清瀧保育園 松井睦朋

### 活動報告 <H20.5~8>

#### ◆ 名保連青年会議定期総会 <H20.5.24.sat. 中日パレス>

#### ◆ 6月例会(研修会) <H20.6.27.fri. 名保連事務所>

6月27日(金)名保連事務所にて、青年会議6月例会が開催されました。今年も去年に続き、あかつき保育園の山中先生を講師に迎え「一保育を語る…「現在・過去・未来」」として、山中先生の保育観を語っていただきました。当日は自園の保育士の方々もご参加頂き、会場は熱気に溢れていました。現在の子育て環境に合わせた保育園の役割、多くの特別保育事業を実施され、そこから学んだこと、保育所保育指針の改正・告示化に伴い保育園の役割・求められること、保育者の役割とは何か。とテーマに沿ってお話をいただきました。また、最後に名古屋の保育に不可欠な「運営費補給金」についての生い立ち等もお話いただきました。当時の時代背景、諸先輩の先生方がどんな想いで作られたのかがわかり非常に勉強になりました。(運営費補給金とほぼ、同級生でした…)特に本当の支援とは何か?その人が、いまして欲しいことをしてあげることであり、「こんなことがして欲しいんだろう…」というこちらの思いを優先してしまいがちなことを反省し、それぞれの立場に立って、相手が「いまして欲しいこと」を確認し、実行することが大切だと感じました。(う〜ん、難しい…)時代が流れ保育園に求められることも変わってきたと、私の両親もよく言っています。変わらないことも大切ですが、変えなきゃいけないこともあるはず。こちらの思いも必要ですが、それを優先しその時求められることをしなくては、ただの独り善がりになってしまうと感じました。今回の講演で、また改めて、襟を正す思いになりました。この気持ちを忘れずにしたいものです…。

#### ◆ 7月例会(研修会) <H20.7.28.Mon. 名保連事務所>

名古屋市子ども青少年局保育企画室より、宮崎室長、押村主査、稲葉係長、棚瀬・梅溪・矢島・佐藤主事に出席いただき、青年会議の会員15名参加のもと、7月28日(月)15時より2時間、名保連事務所にて研修会を開催しました。

当日は、各主事による「担当所管事業の説明」と宮崎室長による青年会議に向けてのメッセージという名の「叱咤」の二部編成で、内容としては、佐藤主事から「保育所実施型家庭保育室制度について」、矢島主事から「一時保育について」、梅溪主事から「保育所地域子育て支援センターについて」、棚瀬主事から「運営費補給金制度について」、そして宮崎室長から「保育を取りまく動きと青年会議の役割について」という五大テーマで構成されていました。

主事さん4名の講演では、各テーマごとに、制度の概要と補助内容の説明、同時に事業への理解、実施の協力を求めながら、質疑応答というこびで。事業については、今回主事さんの生の声を直近で聞けたことで、会員たちも、その役割、重さを十分に再認識したことでしょう。しかし、各会員の中に、理解をしていながらも、なかなか制度導入に手を挙げにくい現状もあるようで、歯痒さが残った一面もありました。

一方、宮崎室長からは、「①名古屋市保育施策のあり方指針、②新保育所保育指針、③新待機児童ゼロ作戦、④青年会議の役割」というテーマで語って頂きました。その中で、宮崎室長が青年会議に向け、特に熱く語られた④のテーマでは

#### 1. 青年会議よ、保育界の大きな流れを見極めよ!

保育界では、今何が起きようとしているのかをつかめ。グローバルに国等の動向に注目し、自分たちは何がしたいのか、また何ができるのかを判断せよ。今後、更なる保育所のサービス化に拍車がかかり、同時に保護者に喜ばれ、選ばれる保育になっている。ひいては自由競争にもつながっていく、そういう大転換期に保育界がおかれていることを認識せよ。<右ページへ続く>



#### 2. 次代(時代)のパイオニアとしての意識を持って!

青年会議はどうあるべきか。昔(先代)の時代とは違う!!過去を守りながらも、新しい時代で生き抜くためには将来的に行政に何をさせるべきなのかを考えよ。

#### 3. 『戦略』を持つべき!

今後保育所は、ますます保護者から選択される時代になり、市民ニーズから離れた保育所は生き残れないだろう。それには、保育の『質』と『特徴』が確保されなければダメだ。そのためにも、保育の質の向上及び有能な保育士の育成も急務である。尚、保育士会主催の研修会にも積極的に参加活用して欲しい。

という内容でした。

今回の講演テーマは、それぞれに非常に重要な内容であり、保育行政の現状、今後の計画及び名古屋市保育あり方指針やガイドラインが目指す方向性、更に室長の熱い想いなどを通じ、青年会議会員にとって考えを新たにさせる良い勉強会になりました。複数のテーマでの構成は、あたかもオムニバス映画を鑑賞しているようで、独立した短編が並びながらも内容も色濃く、そして最後には全体として1つの主題を引き出すようにまとめられた充実した研修でした。

研修会後の懇親会には、保育企画室から白石主査と伏見主事にもご出席頂き総勢23名の大懇親会となりました。懇親会も研修会の勢いそのまま、保育企画室と青年会議が会場内の至るところで、意見交換をしている姿が印象的でした。中には、三次会まで繰り出された方々もみえたようで今回の例会が大盛況のうちに終わることができたことと喜んでます。

保育行政と保育現場が相互に理解を深めながら、これからの保育をともに考え支えていくために、このような例会を今後も継続していければと願っています。今回、残念ながら出席できなかった方も、次の機会を期待していただきたいと思います。

事務局: 惟信保育園 宮崎尚弘

#### ◆ 8月例会(レクリエーション) <H20.8.6.wed. 若宮フットサルパーク>

梅雨が明け連日暑い日が続いており、この日の例会も前日までは、こんな暑い中フットサルをやる会員がいるのか?また例会中に会員が倒れないかという心配をしながら当日を迎えると、昼間に名古屋市内では雨が・・・思い返してみると、たしか去年も青年会議のレクリエーション例会でフットサルを開催した日も、雨だったような・・・そんな不安をよそに、夕方には雨も上がり、強い日差しもなく絶好のフットサル日和となりました。

8月6日(水)恒例となった青年会議8月例会が若宮フットサルパークにて開催されました。青年会議会員以外に、今回もゲストチームとして、昭和保育園チーム、業者代表東海ワンダーチーム、そして今回は今年度青年会議に新入会された熱田区泉坊保育園の吉川先生率いる泉坊保育園チームを迎え4チームでリーグ戦を行い、ボールを追いかけながら交流を図りました。主催チームである青年会議チームは10名以上の会員が参加。当日ドクターストップでプレーできなかった会長が、ベンチからゲキを飛ばす監督役に徹すると会員は大奮闘!所々で体力の限界を感じる場面もありながら、ゆるる保育情勢も蹴り飛ばす!そんな想いのこもったシュートが次々とゴールに突き刺さっていました。2時間にも及ぶ激闘の結果、今回優勝は、最強メンバーを揃え、保育園園長相手にも全く遠慮しなかった東海ワンダーチームが全勝で優勝!結果はさておき、今開催も大きなケガも無く、また熱中症で倒れる人も無く、無事に終わることができたことに一安心。一部商品提供もして頂いた東海ワンダーの皆様、その他のゲストチームの方々、多数参加して頂いた会員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

昭和保育園 竹内伝三



#### ◆ 全国私立保育園研究大会報告

6月18日~20日の三日間に渡り「第51回全国私立保育園研究大会 山形大会」が開催されました。名保連青年会議からはOB会員を含め青年会議会員より7名が参加しました。直前に開催地付近でおきた大型地震の影響が心配されましたが、大会は予定通り開催され全国より2000名、参加者が山形の地に集いました。

今回は、私自身が全私保連青年会議の研修部員として同大会における一つの分科会を作り上げるというメンバーの一員としての参加となり、例年通りの初日に行われる開会式、行政報告、シンポジウム等は、講師を含めメンバーとの打ち合わせの時間となってしまいました。携わらせていただいた二日目の分科会では、「保育所組織論の新たな展望を探る」と題しプロスポーツ界から琉球ゴールデンキングス取締役の安永淳一氏を招きスポーツマネジメントにおける組織論と安永氏の手法。地域に根ざした取り組みと新たな展望という2本の柱で分科会を行いました。予想に反し、参加者の年齢層も幅広く、意識の高い参加者と熱い議論を交わしたり、意見交換することができました。昨年11月より準備を進め、当日の座長まで勤めさせて頂きましたが、メンバーと共にこの山形大会の一部に携わらせて頂き、大きな達成感を味わうことができ、また大変な『役得』を感じることができました。今回の貴重な経験や、新たな人脈を得たことは今後につながる大きな収穫だったのではないかと感じております。名保連青年会議を代表してこのような重責を果たせたことを嬉しく思いつつ、少しずつでも会員の皆様にも様々なかたちで還元できればと考えております。

当日、飛び込みで参加して頂いた会員の方も含め、山形までお越し頂いた会員の皆様におかれましては、それぞれに学び多き機会になったことと存じます。参加していただきました皆様、本当にありがとうございました。

昭和保育園 竹内伝三

### 平成20年度新規会員紹介

吉川 司(泉坊保育園)

### 今後の活動予定

- ◆ H20.9.19 (金) 9月例会(研修会) 市役所職員の講演
- ◆ H20.10.24 (金) 10月例会(レクリエーション) ボウリング大会(予定)

【編集後記】 スパ-スの都合上、簡単に挨拶だけさせていただきます。今年度もお付き合いのほどよろしくお願い致します。 誓成保育園 渡辺一晃



活動報告 <H20.1~4>

◆ 1月例会(研修会) <H20.1.25.fri. 名保連事務所>

平成20年最初の例会は青年会議OB会員の中野保育園 大島明仁先生をお招きし、「世代の継承」～意識と準備を考える～というテーマで講演をしていただきました。大島先生自身が世代継承の難しさを試行錯誤を繰り返しながら体験されてきたこと。青年会議の仲間がよき相談相手であり、それにより自分が支えられてきたことなど、いろいろな角度から実体験や本音を語っていただきました。講演の後、2つのグループに分かれディスカッションという形で「世代の継承」について語り合いました。どこの保育園でもそれぞれに抱えている問題点があり、ディスカッションをとおしていろいろな意見が飛び交っていました。この研修会を通じて、自分たちの世代だけでなく、将来的に次の世代にはどのように継承していくのかということを考えさせられる機会でもあったと思います。



誓成保育園 渡辺一晃

◆ 2月 ① 第47回保育まつり <H20.2.14.thu.~2.15.fri. 名古屋市公会堂>

今年も「卒園をお祝いする会」(保育まつり)に青年会議及びOB会員の皆様にご参加、ご協力いただきましてありがとうございました。実行委員長の名港保育園 長谷川弘顕先生のもと前日の準備、及び交通部・舞台部・会場部のお手伝いにより無事におえることができました。伝統のあるこの行事を継続させていくため、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

② 親睦旅行 <H20.2.16.sat.~2.17.sun. 琵琶湖温泉>

「不安!そして不安!! またまた不安!!! の旅行顛末記」

平成20年2月16日(土)17日(日)に、参加者12名で滋賀県大津へ懇親旅行に行ってきました。今回の旅行には、①世界遺産比叡山延暦寺を巡礼する。②疲れた心身を癒すため琵琶湖温泉「緑水亭」で温泉三昧。③疲労回復と明日への英気を養うために近江牛を堪能する。という三大目的がありました。

旅行前日に幹事の欠席連絡が入ります。(第一の不安!)少し不安を残しながら、柘植先生の運転でマイクロバスは近江に向かって走り出しました。スタート時25人乗りのマイクロバスには、8名が乗車し、あとの4名は、夕食までにホテルで合流するという予定でした。交通・道路状況もあり、宴会時間までに合流できるのか一抹の不安を感じていました。(第二の不安!)そして、この旅行での最大の不安となったのが、往路、車内で松井会長に異変が起きました。突然の高熱で寝込んでしまったのです。ただの風邪ではないことは誰がみてもわかりました。(第三の不安!)そして、雪の降りしきる中、柘植先生の安全運転のおかげで無事宿に到着。

ついた早々、松井会長は、病院に直行し、そこでインフルエンザと診察され、直ちに名古屋に強制送還されることになりました。松井会長、ホテル滞在時間2分!幹事に加え、会長まで失った事務局には、もうこの時点で旅行を楽しむ余裕はゼロでした。みんな

は温泉で疲れを癒すためにホテルの内風呂(大浴場)に入りましたが、一人K先生のみ外風呂に浸かって心身を癒していました。余程効能があったのか、翌日もその外風呂に浸かったみたいです。何とか皆さん目的②達成。さて、お楽しみ会の宴会です。7名という少数の大宴会が粛々と始まりました。お酒もお料理も美味しく堪能しながらも、別働隊の到着をいまかいまかと待ち構えながらの食事は進むはずありません!? 残すことは大嫌いなので、お膳ののった料理は全て食しました。仲居さんの再三の「後の方たちのお着きは何時頃ですか?」という問いにも、口ごもり、時に視線をそらし、話をはぐらかせながら、間を持たせ何とか宴会時間終了直前に別働隊が無事に到着。盛況の内に宴会が終了し一安心しました。その夜、二次会、三次会へと繰り出した皆さんは、個々の目的を達成した人やそうでなかった人も夜遅くまで会話が花が咲いていたよう

<右ページに続く>



二日目、当初は比叡山延暦寺を巡る予定でしたが、比叡山の道路状況も考慮し、また事務局の性格上無理をせず、安全に帰路につくという精神からも参拝することを断念しました。残念ながら、目的①は不達成でした。その代わり、目的③のために一行は、近江牛を求めて進みました。しかし、お店の予約をしていないばかりか、どこに近江牛のお店があるのかも確認していない中、バスは国道一号線を東に、美味しそうな看板を目指してひたすら走りまわりました。(第四の不安!)やはり、神様はいるんですね。バスを走らせながら、看板を頼っていき「ここはどうか? いまいちか?等」と文句を言っている丁度そのとき、「松喜屋」の看板に遭遇。ラッキー!と心の中で叫び、お店を目指すと、その佇まいは期待を裏切らないものでした。が、またまた不安がよぎる。問題は二つ。マイクロバスが駐車できるのか、繁盛してそんなお店のようで、ランチ時に団体が一度に席につけるのか。再度、神様現れる。何と、幸運にも問題クリアで、近江牛のステーキをゆっくり心行くまで堪能した私たちでした。目的③大達成!そんなこんなで、何とか、無事に安全に旅行を終え、家路に着くことができました。参加された皆様には、道中ご心配をおかけしました。また行程等の変更にもご協力を頂きまして誠にありがとうございました。



惟信保育園 宮崎尚弘

◆ 4月 平成19年度送別会 <H20.4.5.sat. スギモト本店>

桜満開の平成20年4月5日(土)栄のスギモト本店にて平成19年度青年会議送別会が開催されました。本年度の卒園生は「瑞雲保育園の渡辺英仁くん」。当日は、青年会議会員はじめ、名保連会長の藤岡先生、6名のOB会員の先生方の総勢20名の出席があり、しゃぶしゃぶすることも忘れ、皆で英仁先生を囲み、青年会議の思い出話を花を咲かせました。その後も場所を変え、途中で寝てしまう先生、抜けていく先生は追わず2次会、3次会、...次会と永遠に続くかと思う程盛り上がり、夜中(もう朝!?)に解散しました。これだけの人を集められる英仁先生の人望と、愚痴をこぼしつつも皆、笑顔で楽しそうだったのが印象的でした。渡辺英仁先生、長期にわたり青年会議でのご活躍お疲れ様でした。OBになられた後も変わらずよろしくお祈りします。



新瑞幼児園 柘植信秀

◆ 全私保連青年会議特別セミナー報告

新しい年を迎え、1月16日(水)に、全国私立保育園連盟青年会議特別セミナーが、東京・都市センターホテルにて開催されました。今年で3回目の開催を迎えたこの特別セミナー、今回のテーマは「社会で支える子育て支援 ~保育・子育て支援にかかわる社会保障制度のあり方を求めて~」でした。全国各地から150名を超える方が参加し、名保連青年会議から会員5名の参加に加え、名保連から藤岡会長にもおこし頂きました。基調講演とパネルディスカッションの二本立てで行われた中身は、改定され今年3月に大臣告示される保育所保育指針についての基調講演を、保育システム研究所代表吉田正幸さんに行っていました。「全ての子どもの最善の利益」を考えることを根幹に、大綱化された新指針の基本的な内容を説明して頂きました。また、改定に伴う今後の課題として「指針の理解と共有」「質の向上に向けた取り組み」「記録を残す(言語化する)」という具体的な課題もあげて頂き、職員とも共有したいと感じる、大変理解しやすい講演でした。後半のパネルディスカッションでは、自民党の尾辻秀久氏、民主党の蓮舫氏など主要なパネリストが公務のため欠席になってしまうという思わぬ展開に...それぞれの立場の違いもあり、軸の定まらない議論になってしまう部分もある中、終始、子どもの視点での意見が乏しかったのが大変残念だと感じました。

その後、開場を移して行われた情報交換会でもセミナーの熱気をそのままに、多くの参加者で盛り上がりました。名古屋から参加された会員の方々も情報交換会だけでは時間が足りないと、その後の二次会にも参加し、積極的に他都市の先生と情報交換を行っていました。それぞれに感じることの多いセミナーになったのではないかと共に、この機会に得たものは、名保連の青年会議や自園に還元していきたくて頂きたいと願っています。



昭和保育園 竹内伝三

◆ 今後の活動予定 ◆ H20.5.24 名保連青年会議総会

【編集後記】(書記より)

今年度最後のかかわら版を無事に発行することができました。これもひとえに青年会議の会員の皆様をはじめ、OB会員の方々、役員の方々、その他大勢の方々のご協力の賜物であったと感じております。今年度において反省すべきことは真摯に反省し、今年度以上のものを来年度も発信し、一人でも多くの会員の方に参加していただけたらと思っております。今後も「愛読者」の心をつかめるかわら版を発行していきますので皆様ご協力の程よろしくお願いします。

誓成保育園 渡辺一晃